

付属資料・目次

改修特記仕様書（抜粋）	特 1
現場説明付記事項・配置図・詳細配置図	1
第一臨床研究棟 仮設計画図【参考図】	2 ～ 8
第一臨床研究棟 平面図	9 ～ 2 1
第一臨床研究棟 矩形図	2 2 ～ 2 4
先端科学研究棟 平面図	2 5
第一臨床研究棟 給水設備 改修範囲(参考図)	2 6
第一臨床研究棟 排水設備 改修範囲(参考図)	2 7
第一臨床研究棟 消火設備 改修範囲(参考図)	2 8
第一臨床研究棟 ガス設備 改修範囲(参考図)	2 9
第一臨床研究棟 空気調和設備 ダクト改修範囲(参考図)	3 0
第一臨床研究棟 空気調和設備 配管改修範囲(参考図)	3 1

I 工 事 概 要

- 1.工事場所
- 京都市左京区聖護院川原町 5 4（病院東構内）
- 2.完成期限
- 令和 7 年 3 月 1 0 日（月曜日）

3.建物概要

建 物 名 称	第一臨床研究棟	先端科学研究棟
工 種	模様替	模様替
構 造 ・ 階 数	SR8-1, R1-1	SR5-1
建築基準法による	建築面積 (㎡)	1, 947㎡
	延べ面積 (㎡)	12, 755㎡
消防法施行令別表第一の区分	(7) 項	(7) 項
改 修 面 積 (㎡)	3, 240㎡	580㎡
備 考		

4.工事種目

○ 印の付いたものが対象工事種目

工 事 種 目	工 事 種 別	
建 物 名 称	第一臨床研究棟	先端科学研究棟
空気調和設備	○	○
換気設備	○	○
排煙設備	・	・
自動制御設備	○	○
衛生器具設備	○	○
給水設備	○	○
排水設備	○	○
給湯設備	・	・
消火設備	○	・
ガス設備	○	○
雨水利用設備	・	・
撤去工事	○	○

- 5.指定部分
- 無 ・ 有
- 対象部分（
- 指定部分工期
- 令和 年 月 日（ 曜日）
- 6.概成工期
- 無 ・ 有
- 令和 年 月 日（ 曜日）
- (1.2.1) [1.2.1]

II 工 事 仕 様

1.共通仕様

- (1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領(平成 1 6 年 4 月 1 日財務担当理事裁定制定)別記1の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、○のついたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 4 年版)(以下「標準仕様書」という。)

○ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和 4 年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

○ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和 4 年版)(以下「標準図」という。)

○ 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和 4 年版)(以下「文科仕様書」という。)

○ 文部科学省機械設備標準図(特記基準)(平成 3 1 年版)(以下「文科標準図」という。)

○ 工事写真撮影要領(令和 5 年 9 月)

2. 施工条件

この工事現場では、次の施工条件による

- (1) 本建物は使用しながらの工事となるため、添付の外部動線計画図・仮設計画図を参考に、建物内で行われる研究活動に影響を与えないとともに、工事中の騒音・振動、粉じん、安全等十分配慮すること。
- (2) 本建物は使用しながらの工事となるため、漏水対策ならびに、出入口等の使用に考慮した安全対策を講ずること。
- (3) 本工事建物周囲には、病棟や研究棟等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。
- (4) 工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。
- (5) 騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。
- (6) 臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。
- (7) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
- (8) 工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。
- (9) その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。
- (10) 工事用地は、工事完成時には原状に復帰して返還すること。
- (11) 工事用地内の環境美化（草刈り等）に努めること。
- (12) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- (13) エレベーターホールや廊下等の共用部の工事は土曜日、日曜日、祝日に計画し、共用部については、平日は安全に通行できるように復旧すること。
- (14) 給水、排水、ガス、消火設備の改修に伴う設備停止は、土日の 8 時から 1 7 時として工事計画を立てること。
- (15) 第一臨床研究棟は令和 6 年 1 0 月 1 日着工とする。

工事名称	京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事	縮尺	A 1 : - A 3 : -	図面番号 特 1
図面名称	改修特記仕様書（抜粋）	令和 6 年 6 月		

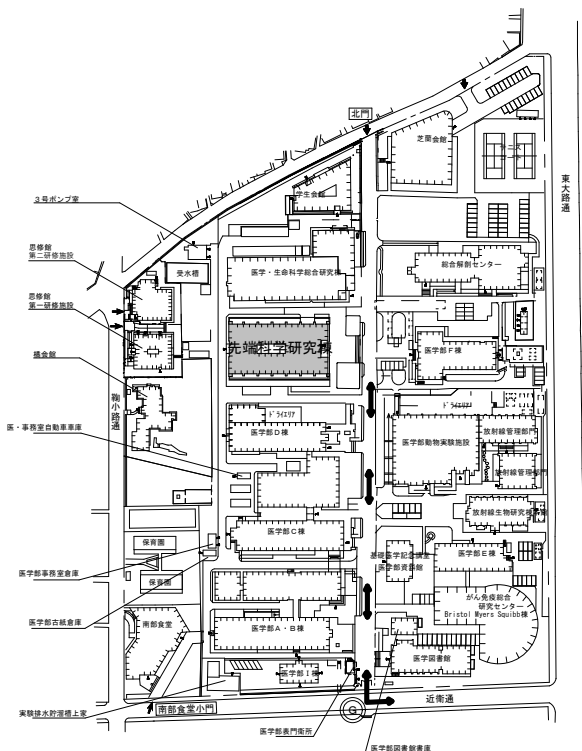
現場説明付記事項

1 工事施工上の注意事項

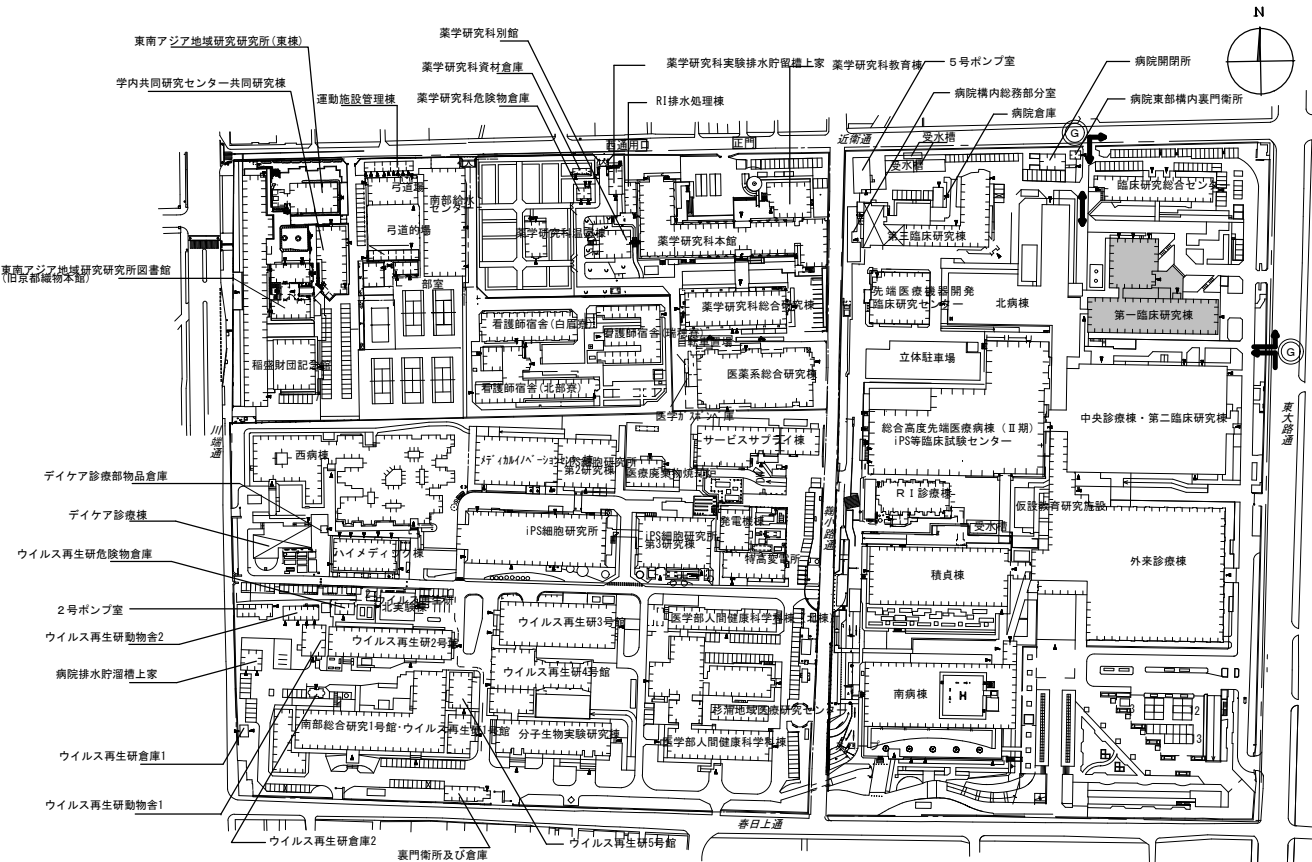
- 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することとし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
- 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
- 病院利用者、教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には十分注意するよう指導を行うこと。
- 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
- 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 工事用地は、工事完成時には現状に復帰して返還すること。
- 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 作業時間は、午前8時30分から午後5時を原則とする。騒音、振動、粉じんの発生する作業、及び廊下、エレベーターホールの施工は土日での実施とすること。
- 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三号）に基づく受動喫煙対策を講ずること。

2 工事中の構内安全対策について

- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
 - 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
 - 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
 - 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等が必要に応じ養生を行うこと。
 - 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
 - 仮囲いの設置に伴い視認性の確保ができない場合は、常夜灯及びコーナーに透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
 - パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなどの事故防止に努めること。



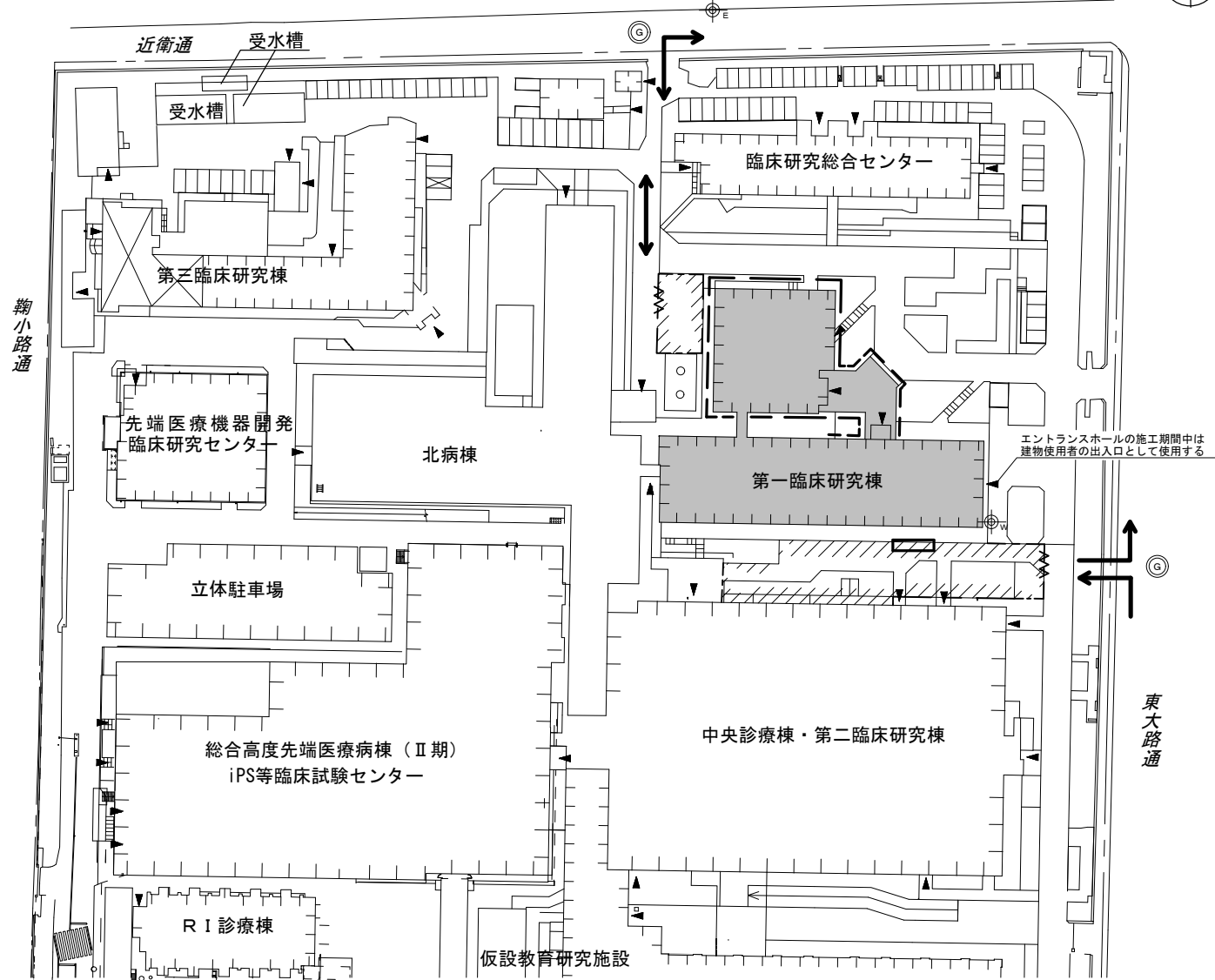
医学部構内配置図 A3 : S=1/1,000 A1 : S=1/2,000



病院構内配置図 A3 : S=1/1,000 A1 : S=1/2,000

凡 例

	本工事位置		交通整理員（常時3名）		工事用車両進入経路（利用期間については外部仮設計画図(1)～(6)を参照すること）
	別途工事建物		既存建物		



詳細平面図 A3 : S=1/350 A1 : S=1/700

凡 例

	本工事範囲
	工事用地
	既存建物
	交通整理員（常時1名 大型車両通行時2名）
	工事用車両通行経路
	工事用給水分岐位置
	工事用電気引込位置（構外より）
	仮囲い：パネル鋼板 H=3,000 L=124m
	パネルゲート：2箇所 W=5.4m程度
	養生シート張り 外部枠組本足場 H=建物棟高さまで（詳細仮設計画図を参照すること）
	※出入口部は鎖等鍵付き施錠共
	※地上部は足場内侵入対策を行うこと
	建物使用者出入口
	※建物出入口上部に朝顔等を設置し、工事中安全に通行できる使用者の動線を確保すること
	資材搬入用エレベーター

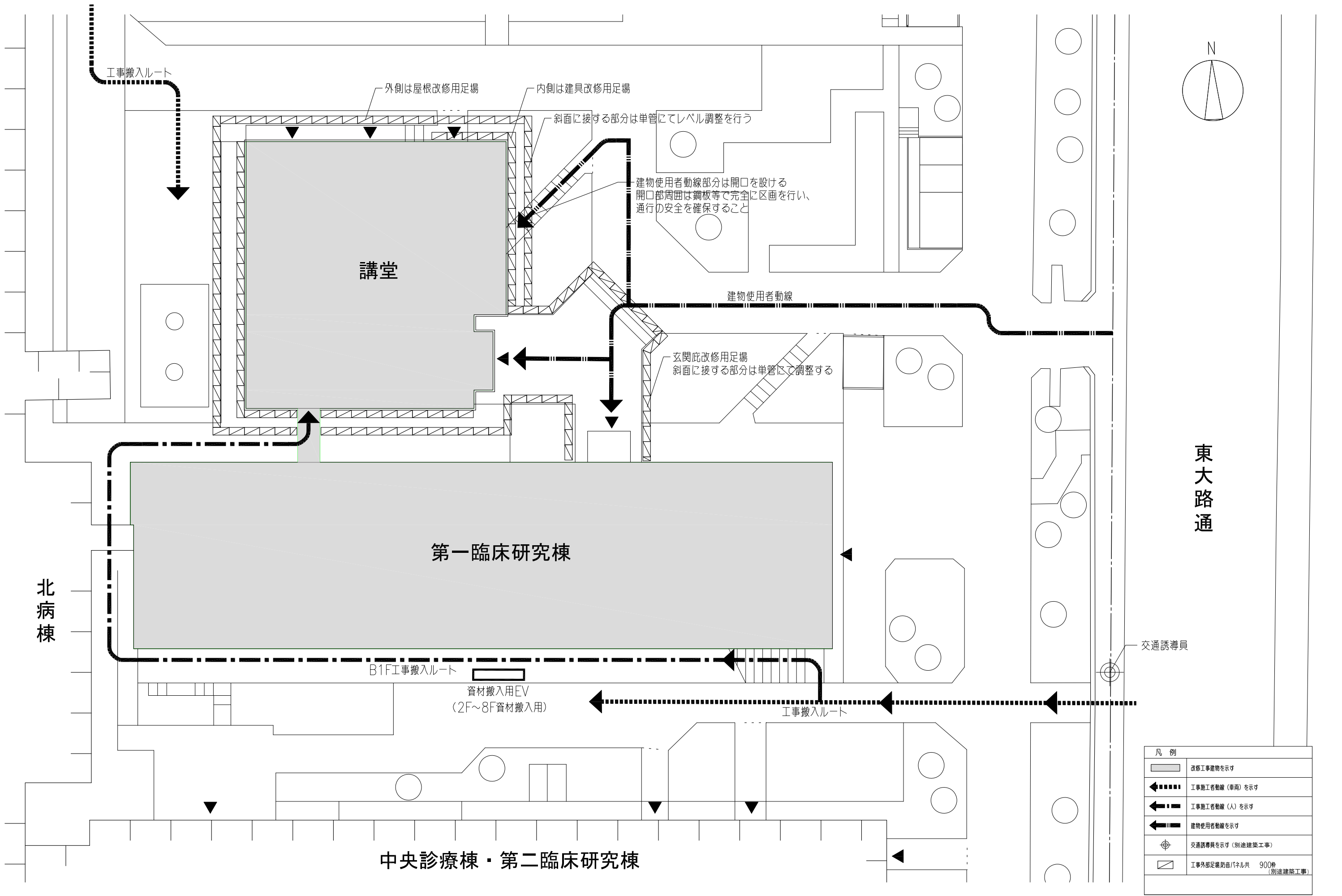
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・Ⅰ期）改修機械設備工事

図面名称 現場説明付記事項・配置図・詳細配置図

縮尺 図示

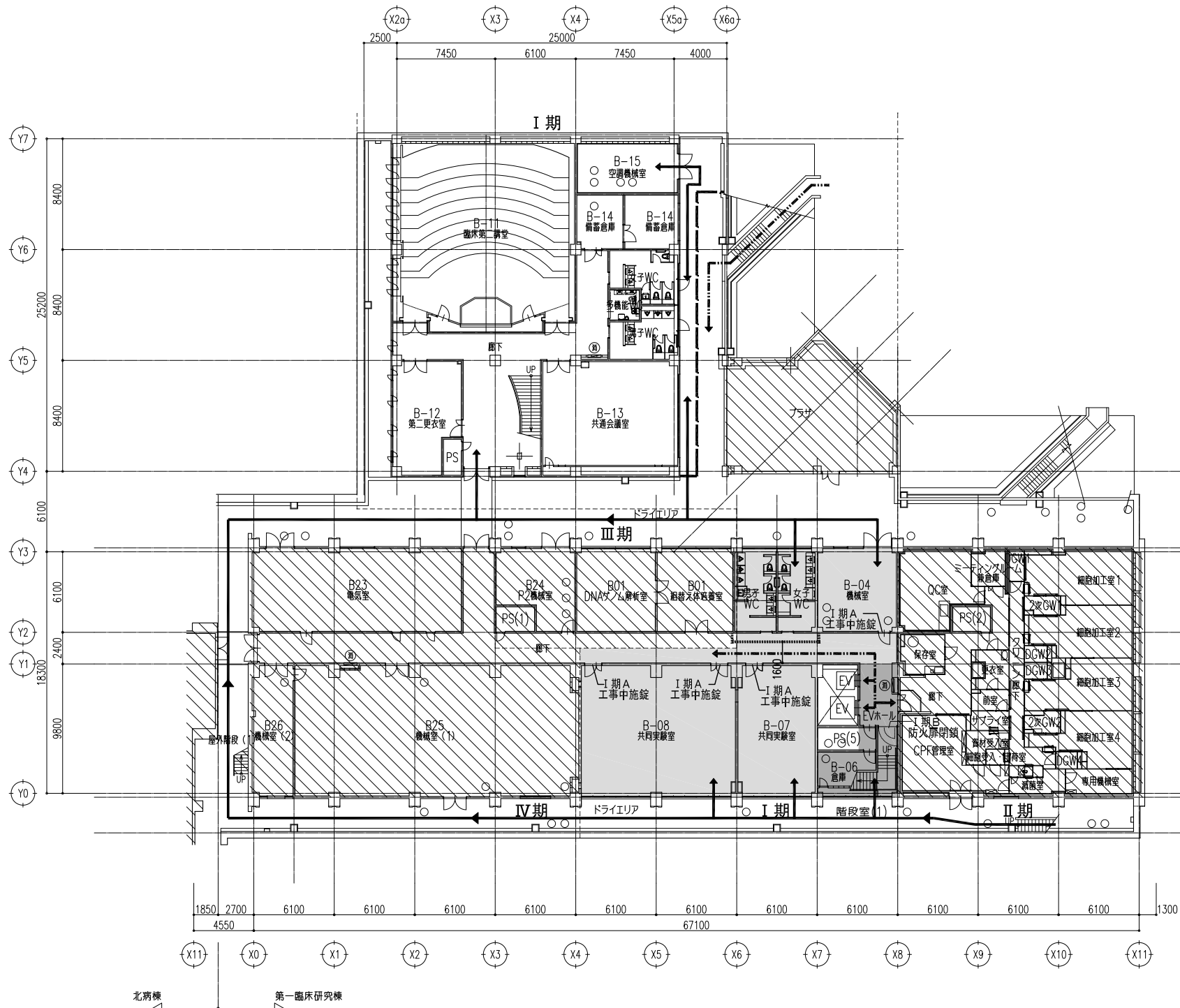
設計日 令和6年6月

1

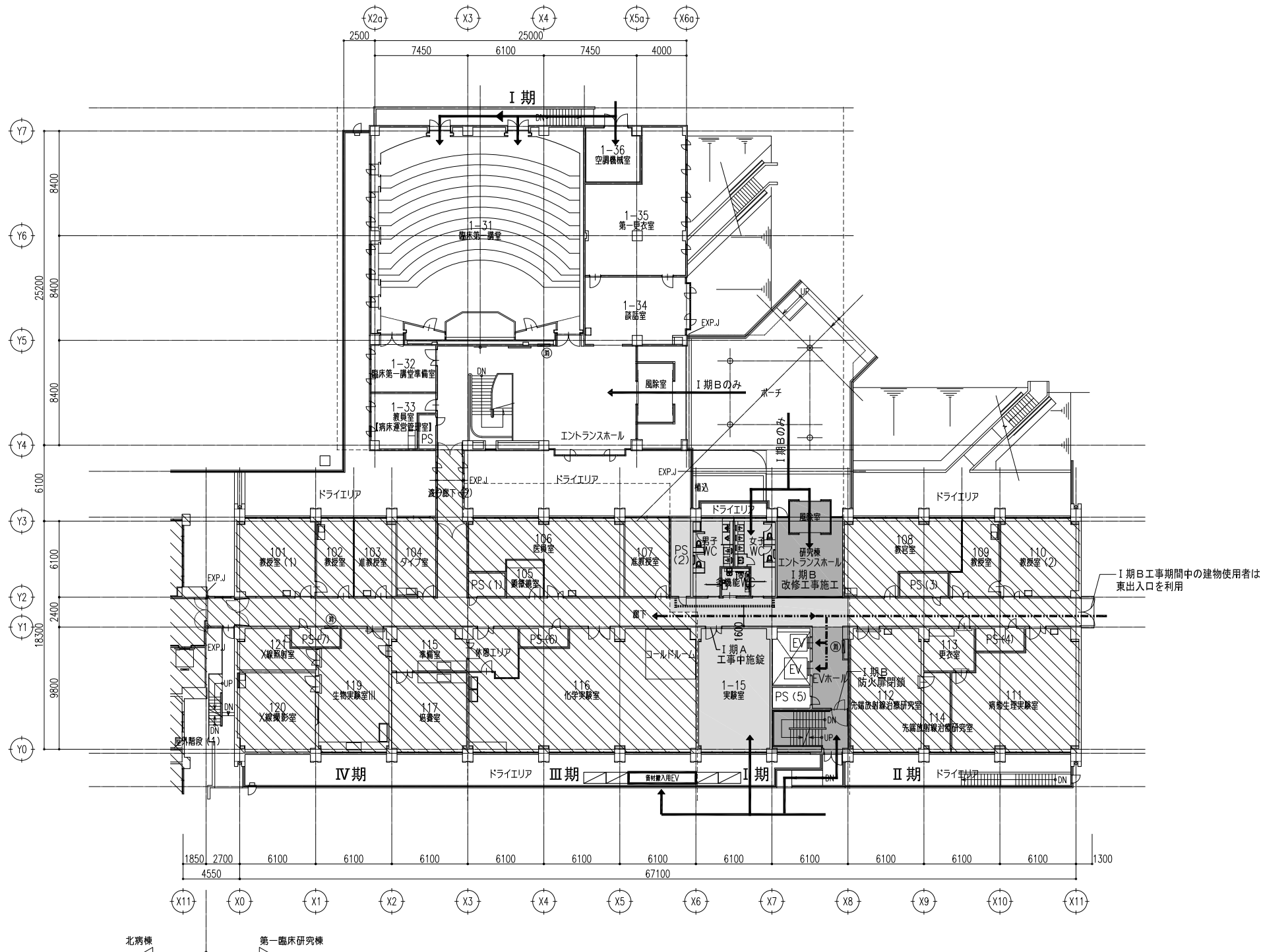


凡 例	
	改修工事建物を示す
	工事施工者動線（車両）を示す
	工事施工者動線（人）を示す
	建物使用者動線を示す
	交通誘導員を示す（別途建築工事）
	工事外部足場防音パネル共 900枚 （別途建築工事）

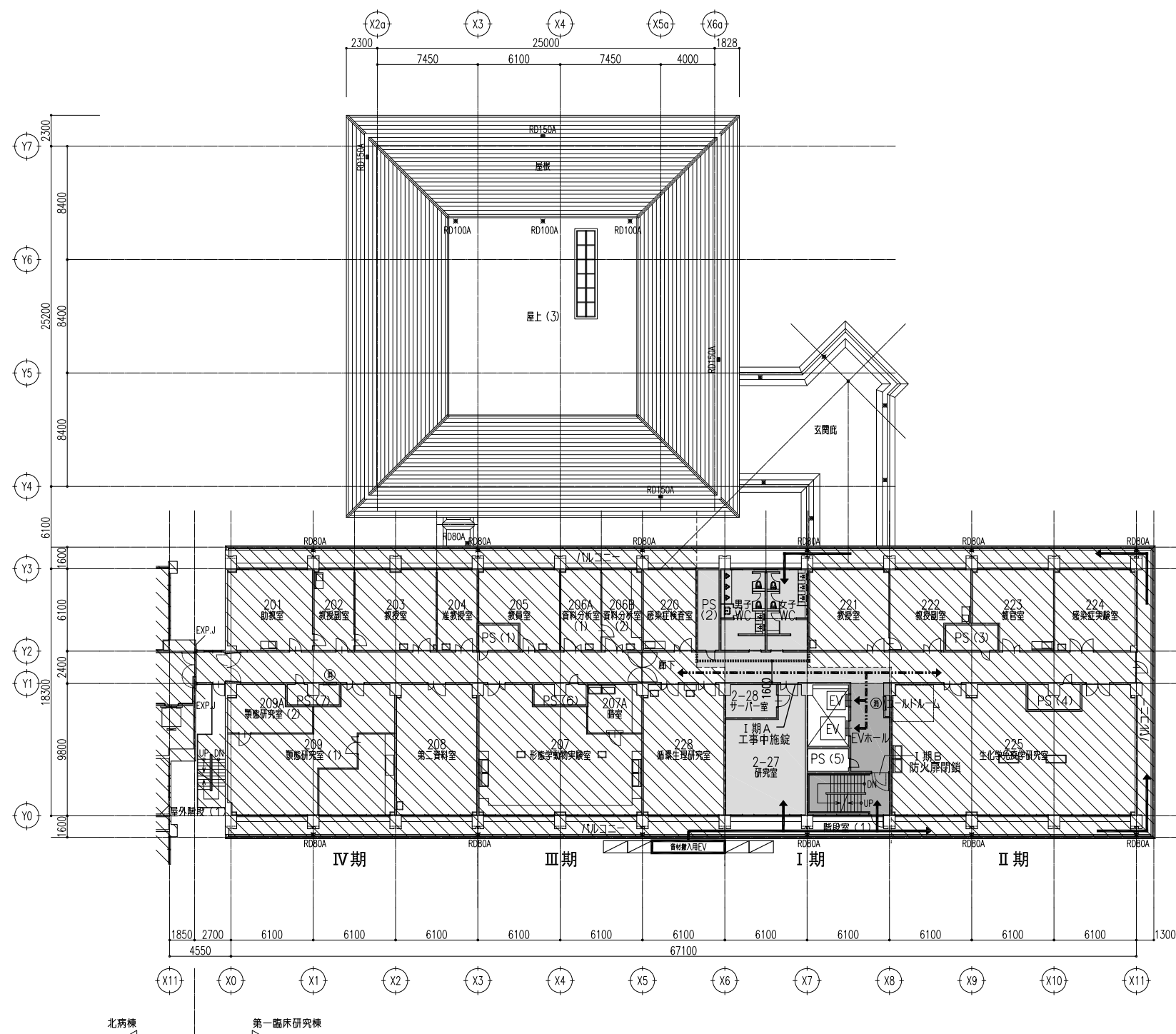
工事名 京都大学(南部)総合研究棟(第一臨床研究棟・期)改修機械設備工事			図面番号
図面名称	縮尺	設計日	2
第一臨床研究棟 仮設計画図【参考図】	図示	令和6年6月	








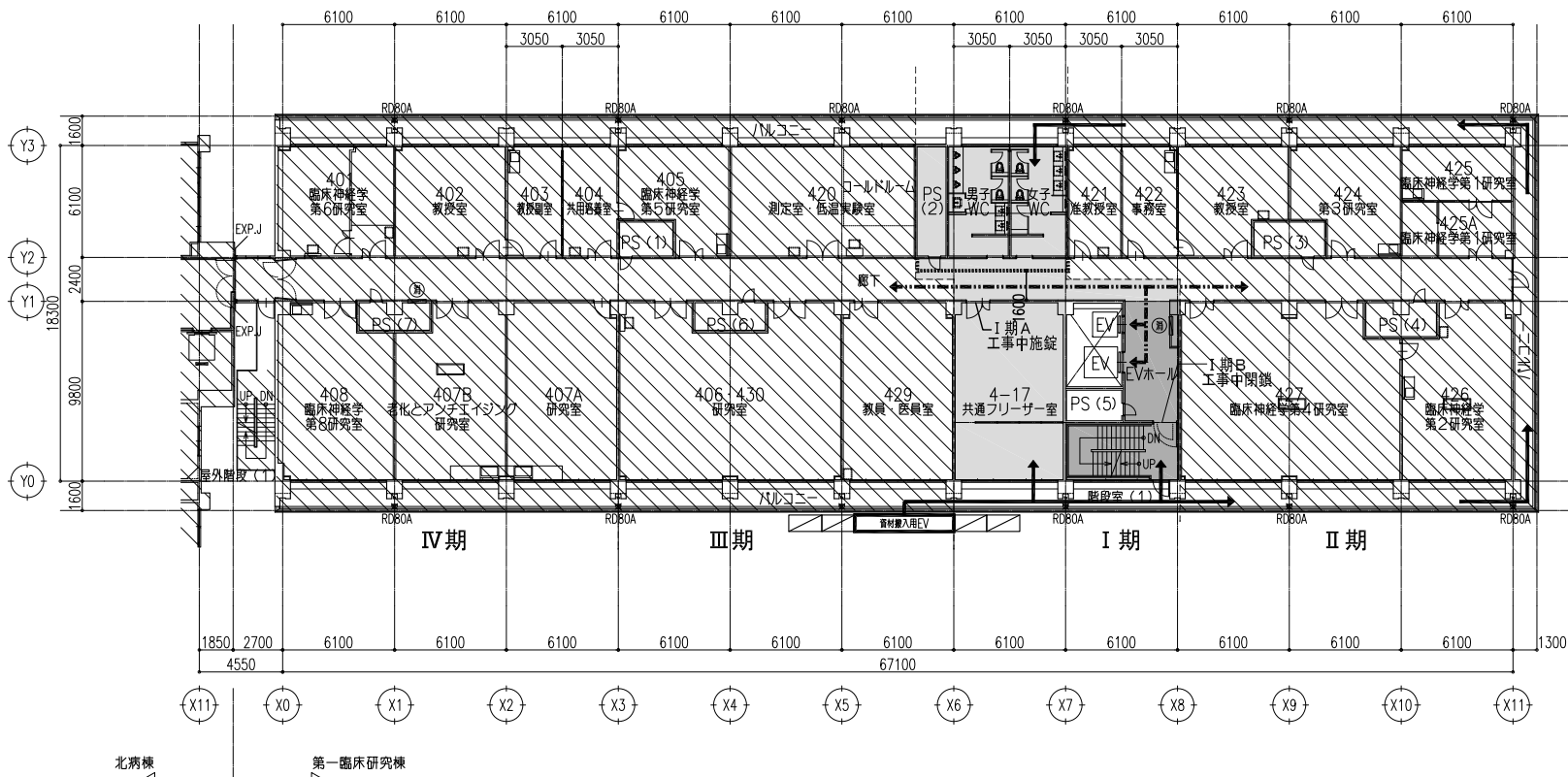
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I 期 A 令和6年10月～令和7年2月上旬（約4か月半） 工事動線として、EV、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I 期 B 令和7年2月上旬～3月上旬（約1か月） 工事動線として、EVは使用不可 EVホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁（I 期 A）（別途建築工事） （LGS65+PBt12.5片面裏りEP 天井垂マテ）
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す
	フェンスバリケード（H=1800）（別途建築工事） 外部建具改修時に設置する 設置時期は監督員と協議の上、決定すること
	I 期 C 令和6年10月～令和7年3月上旬



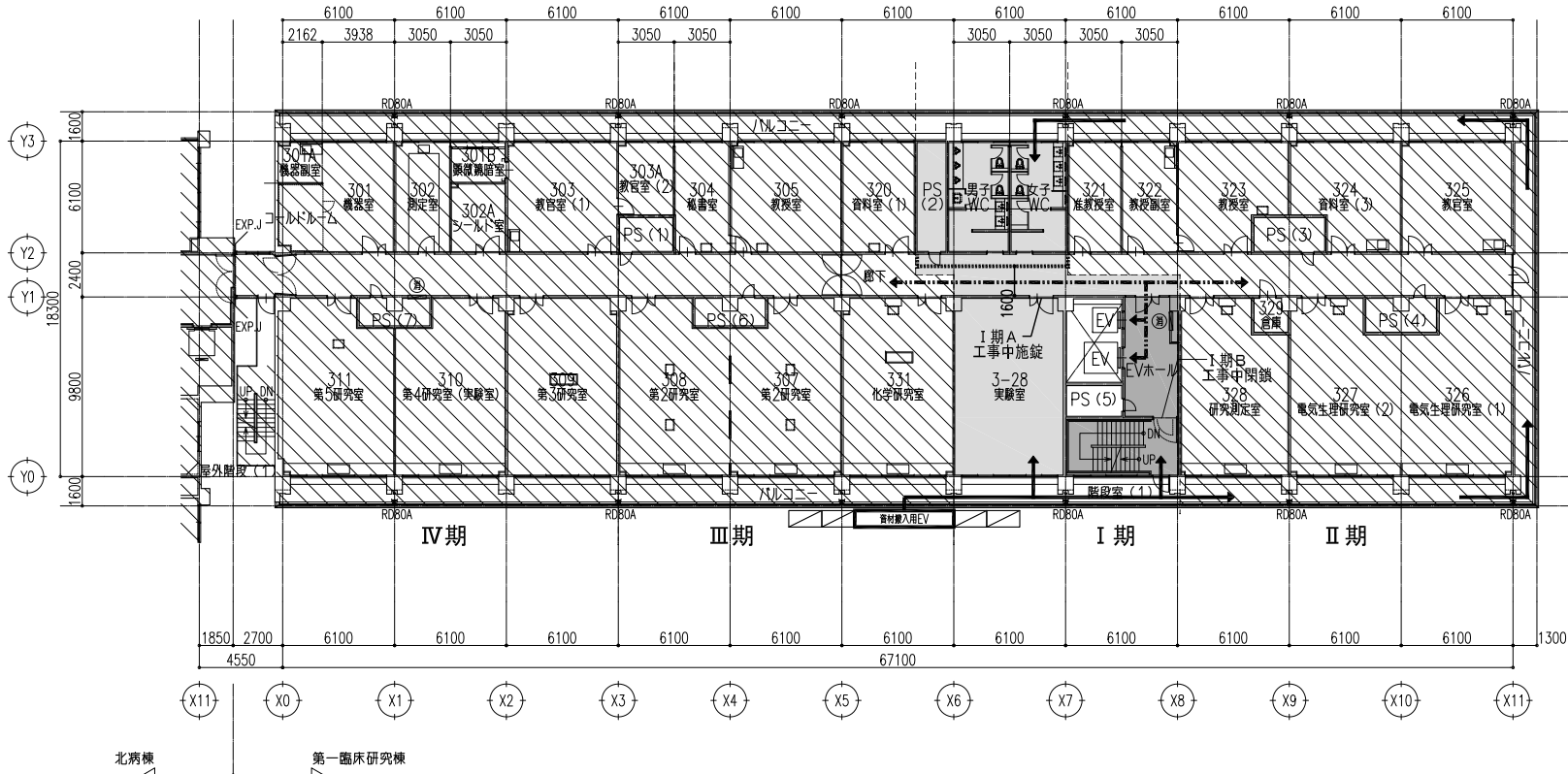
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4か月半) 工事動線として、EV、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1か月) 工事動線として、EVは使用不可 EVホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁(I期A)(別途建築工事) (LGS65+Pbt12.5片面張りEP 天井垂マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す
	I期C 令和6年10月～令和7年3月上旬



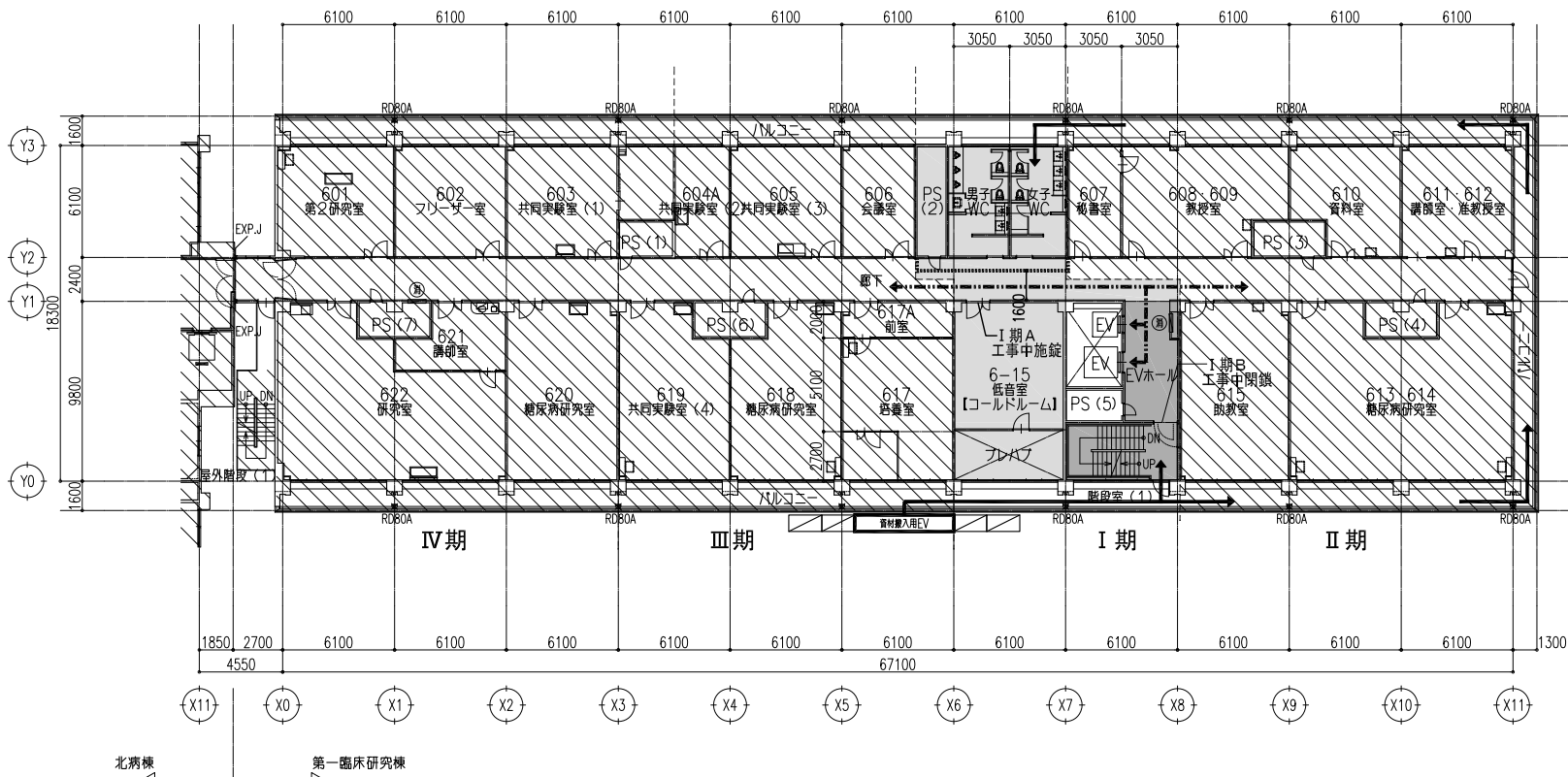
凡例	
	本工事範囲外を示す
	<p>I 期 A 令和6年10月～令和7年2月上旬（約4ヵ月半） 工事動線として、E・V、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工</p>
	<p>I 期 B 令和7年2月上旬～3月上旬（約1ヵ月） 工事動線として、E・Vは使用不可 E・Vホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする</p>
*****	<p>仮設間仕切り壁（I 期 A）（別途建築工事） （LGS65+PBT12.5片巻裏りEP 天井盲マ）</p>
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



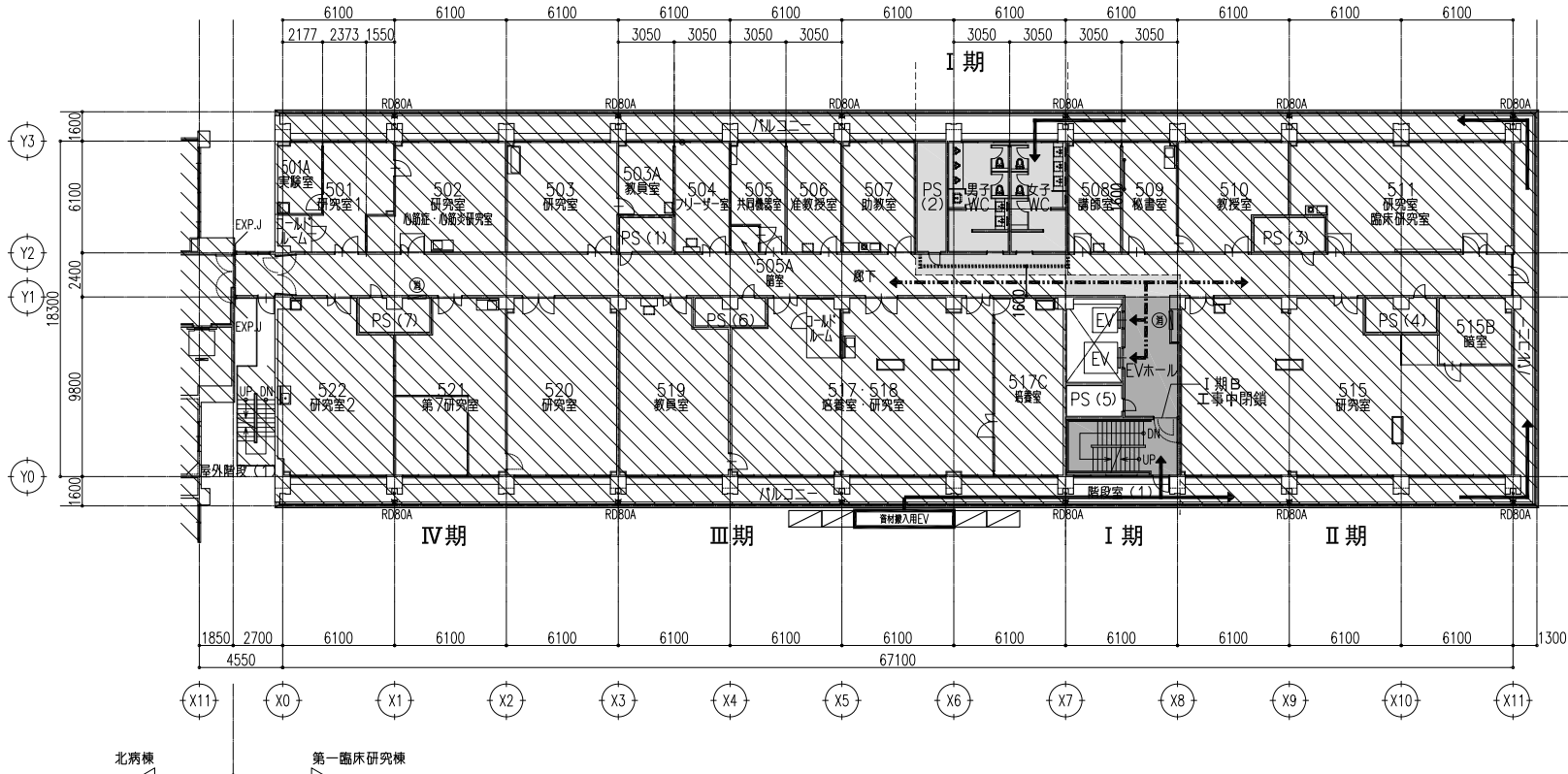
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I 期 A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4ヵ月半) 工事動線として、E V、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I 期 B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1ヵ月) 工事動線として、E Vは使用不可 E Vホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁 (I 期 A) (別途建築工事) (LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井直マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



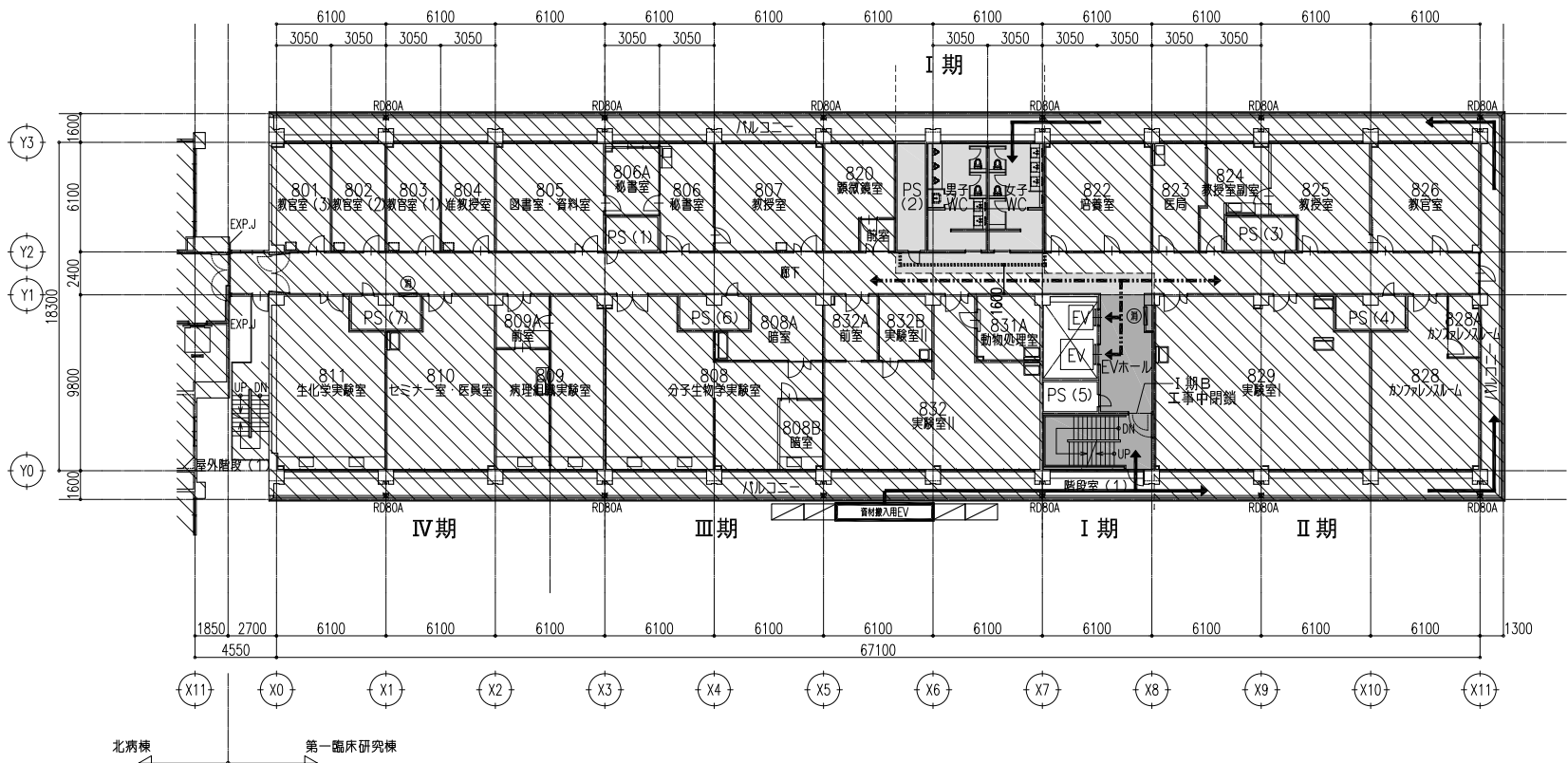
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I 期 A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4ヵ月半) 工事動線として、E V、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I 期 B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1ヵ月) 工事動線として、E Vは使用不可 E Vホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁 (I 期 A) (別途建築工事) (LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井直マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



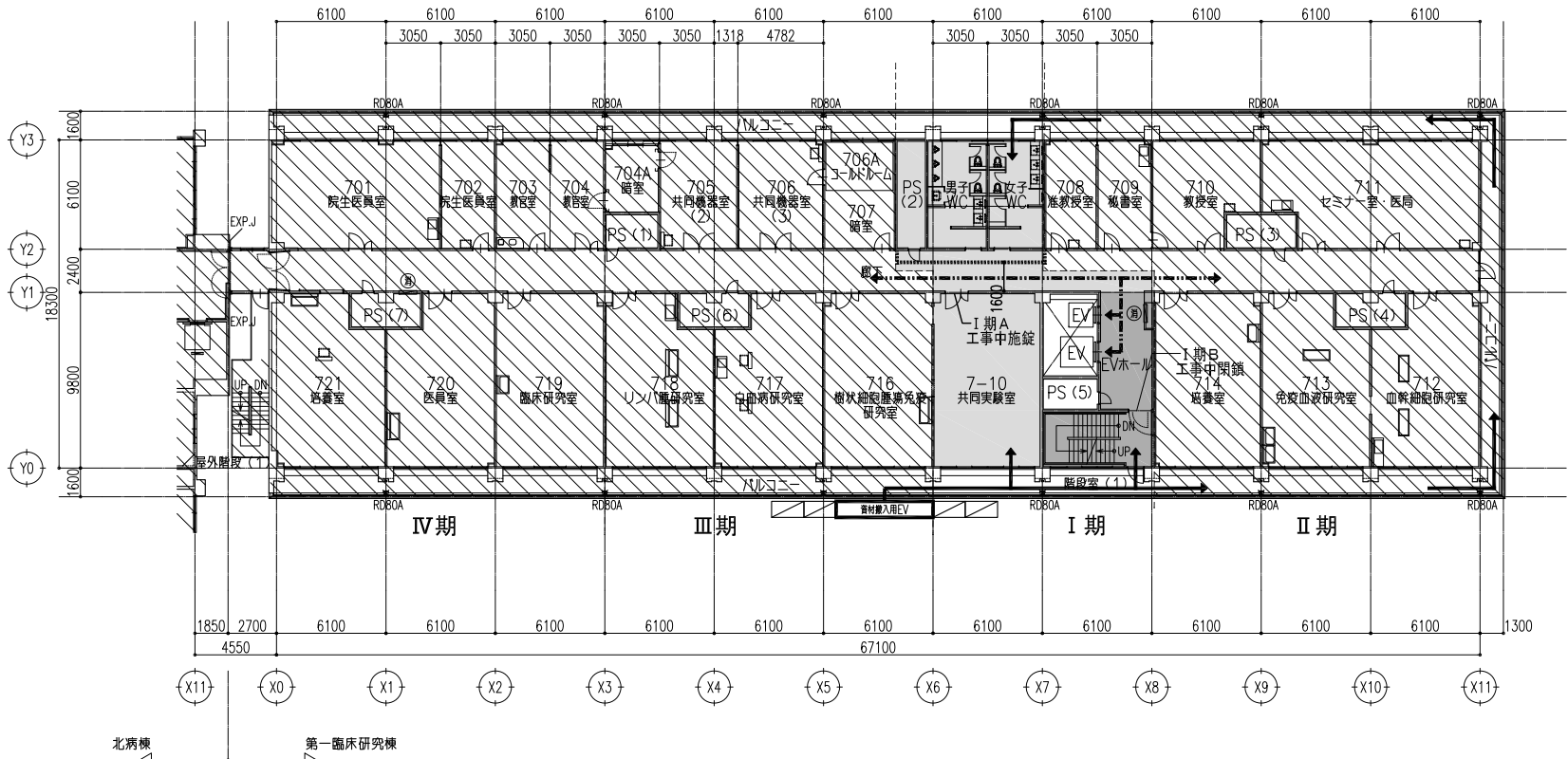
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4ヵ月半) 工事動線として、E.V.、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1ヵ月) 工事動線として、E.V.は使用不可 E.V.ホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁(I期A)(別途建築工事) (LGS65+PBt12.5片直張りEP 天井直マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



凡例	
	本工事範囲外を示す
	I期A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4ヵ月半) 工事動線として、E.V.、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I期B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1ヵ月) 工事動線として、E.V.は使用不可 E.V.ホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁(I期A)(別途建築工事) (LGS65+PBt12.5片直張りEP 天井直マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



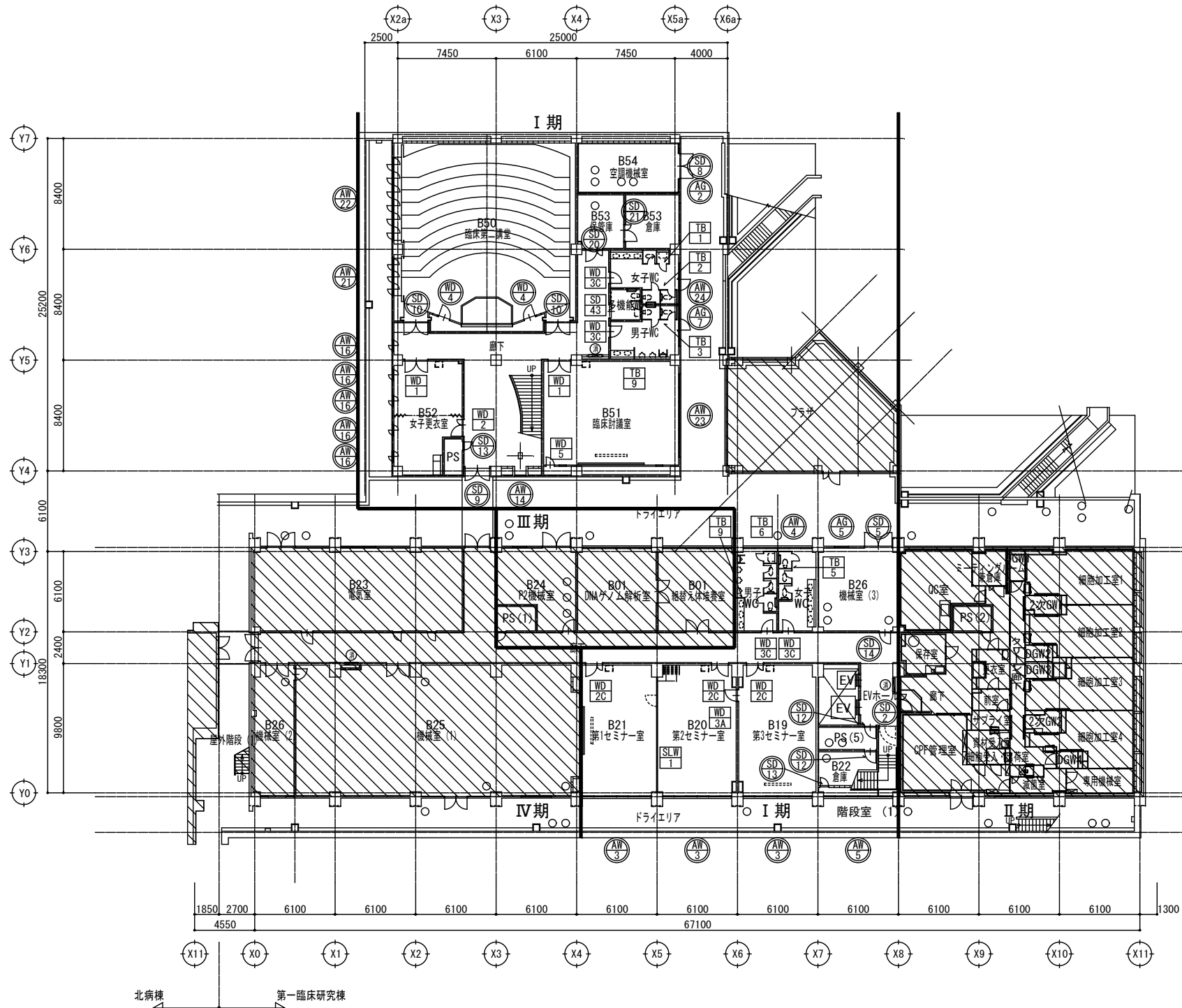
凡例	
	本工事範囲外を示す
	I 期 A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4カ月半) 工事動線として、EV、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I 期 B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1カ月) 工事動線として、EVは使用不可 EVホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁 (I 期 A) (別途建築工事) (LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井直マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



凡例	
	本工事範囲外を示す
	I 期 A 令和6年10月～令和7年2月上旬(約4カ月半) 工事動線として、EV、階段は使用不可 廊下改修は土日にて施工
	I 期 B 令和7年2月上旬～3月上旬(約1カ月) 工事動線として、EVは使用不可 EVホール改修は土日にて施工 非常時のみ階段防火扉を開けて建物使用者が 階段を避難に利用できるようにする
	仮設間仕切り壁 (I 期 A) (別途建築工事) (LGS65+PBt12.5片面張りEP 天井直マテ)
	工事施工者動線を示す
	建物使用者動線を示す



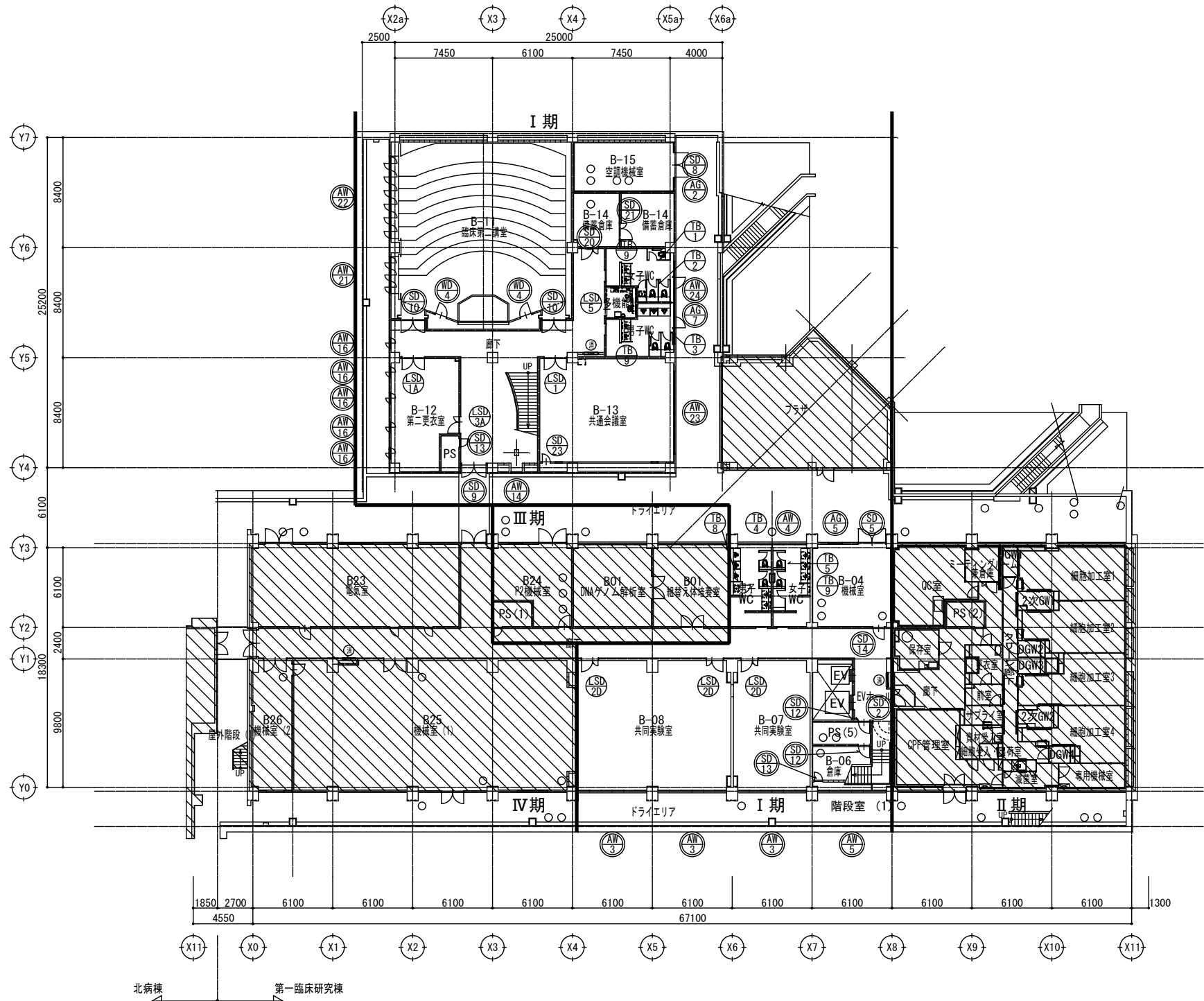
改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号 9
図面名称 第一臨床研究棟 改修前 B 1 階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	設計日 令和6年6月	



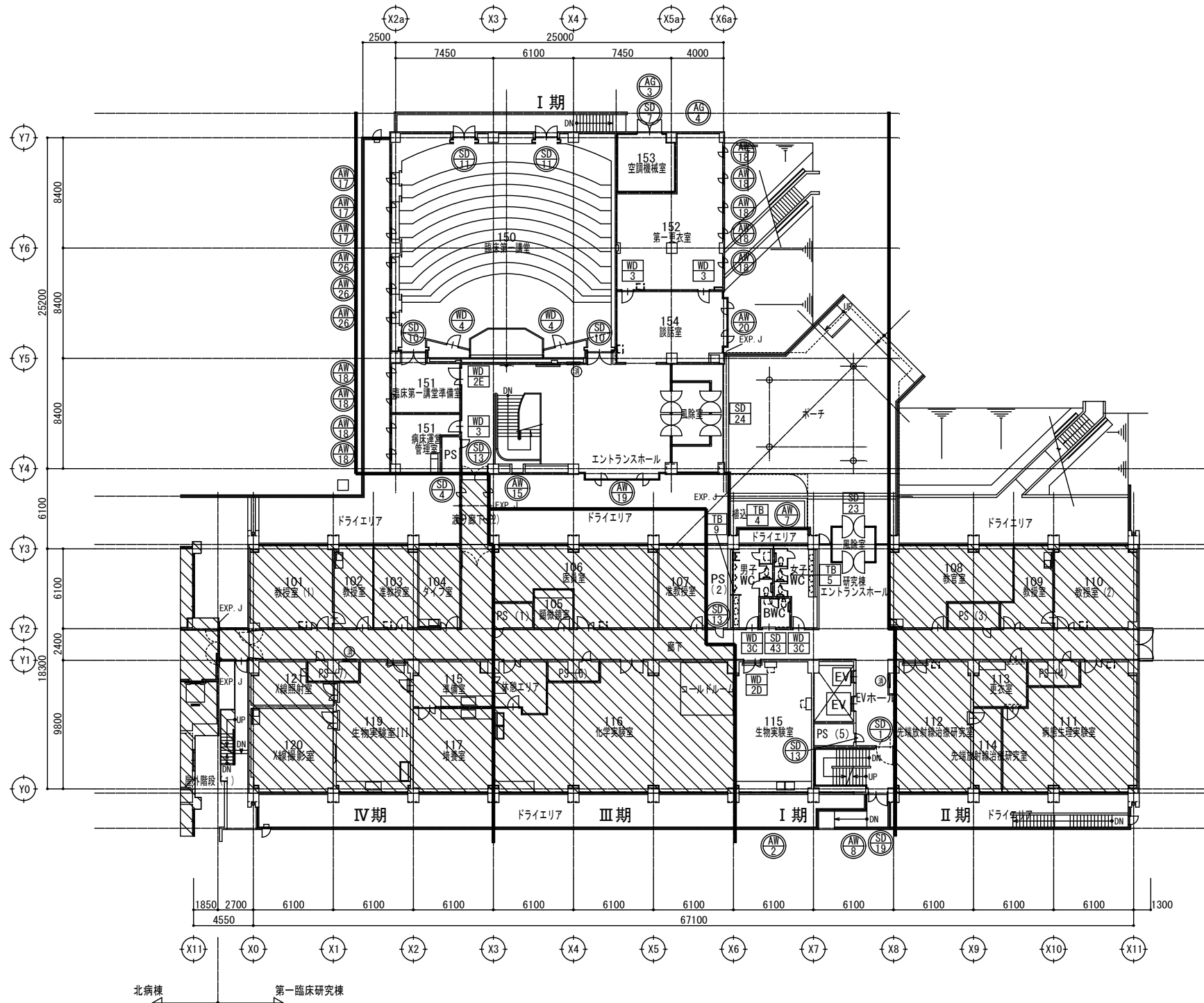
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号 10
図面名称 第一臨床研究棟 改修後 B1階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	設計日 令和6年6月	



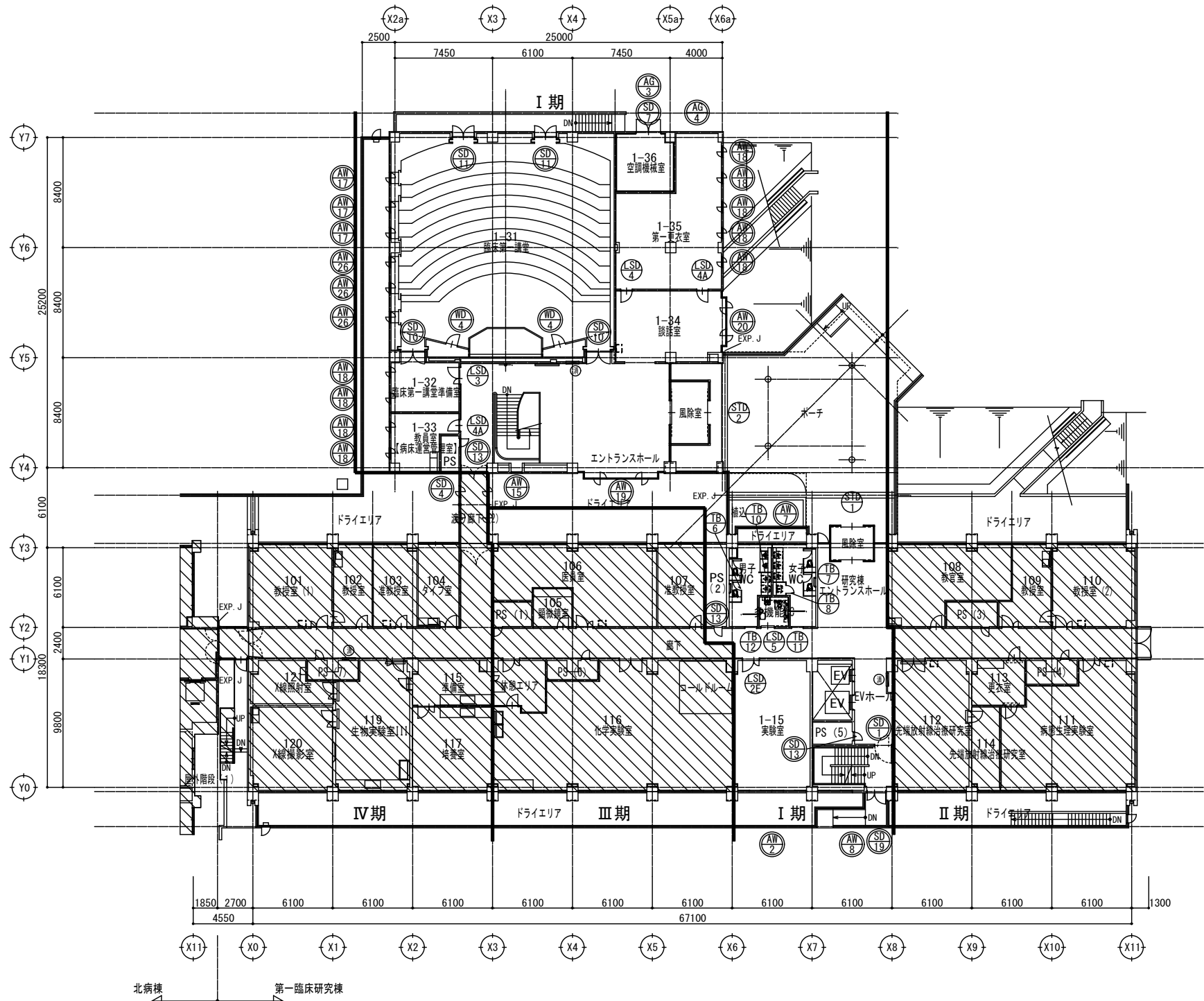
改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）



工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号 1 1
図面名称 第一臨床研究棟 改修前 1 階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	設計日 令和6年6月	



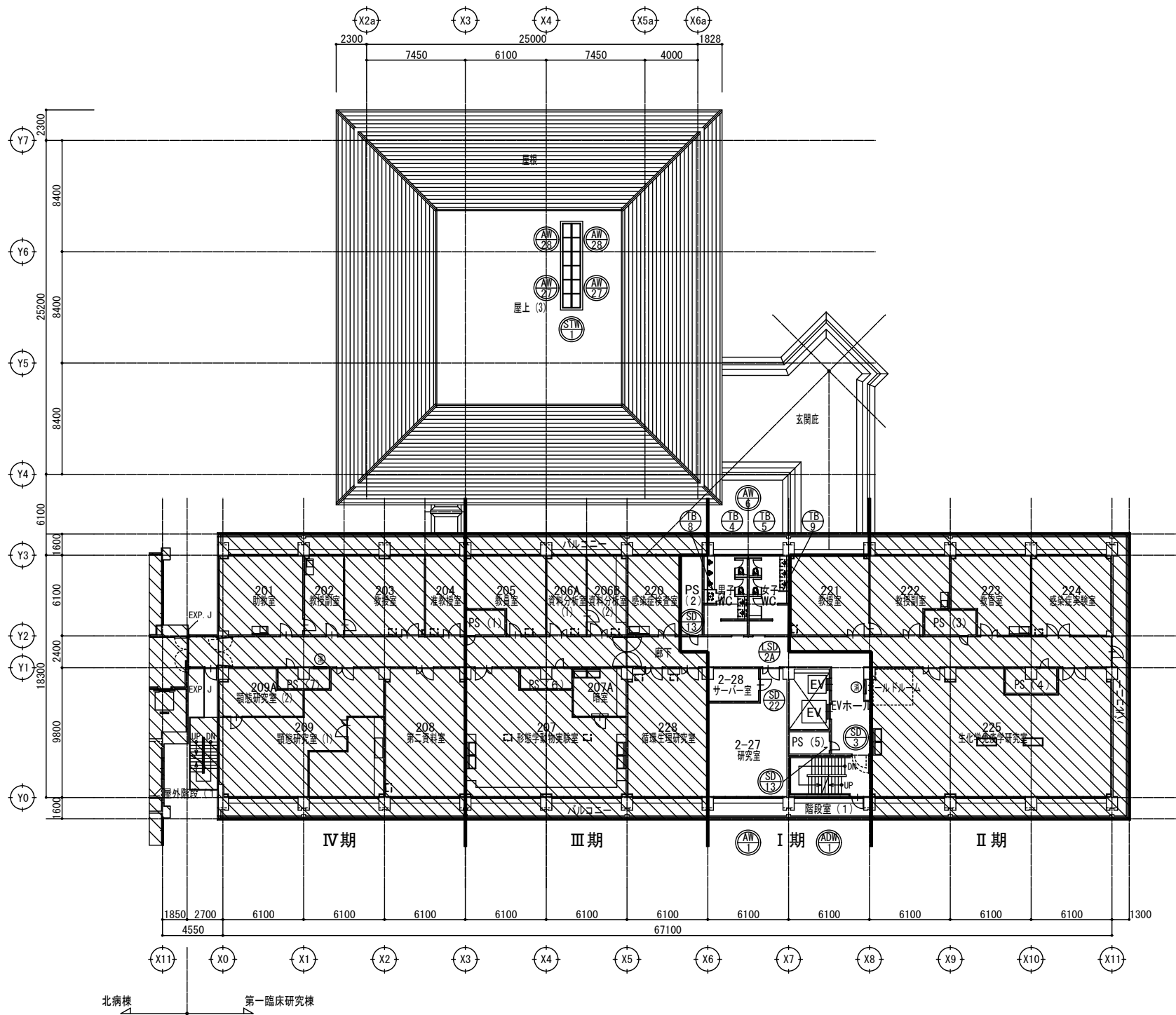
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）



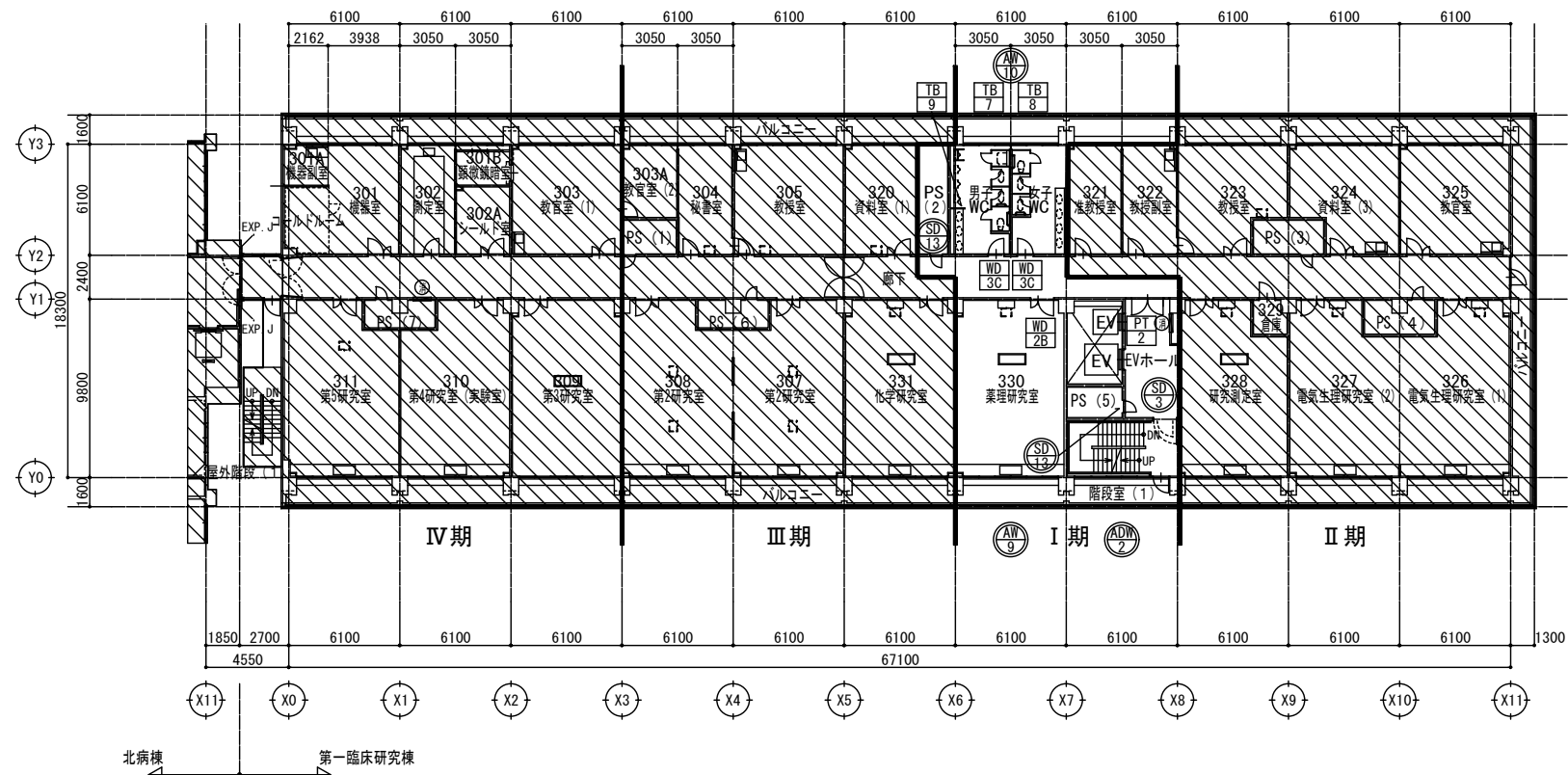
工事名			図面番号	
京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			1 2	
図面名称		縮尺		
第一臨床研究棟 改修後 1 階平面図		A1:1/200 A3:1/400		
		設計日		
		令和6年6月		








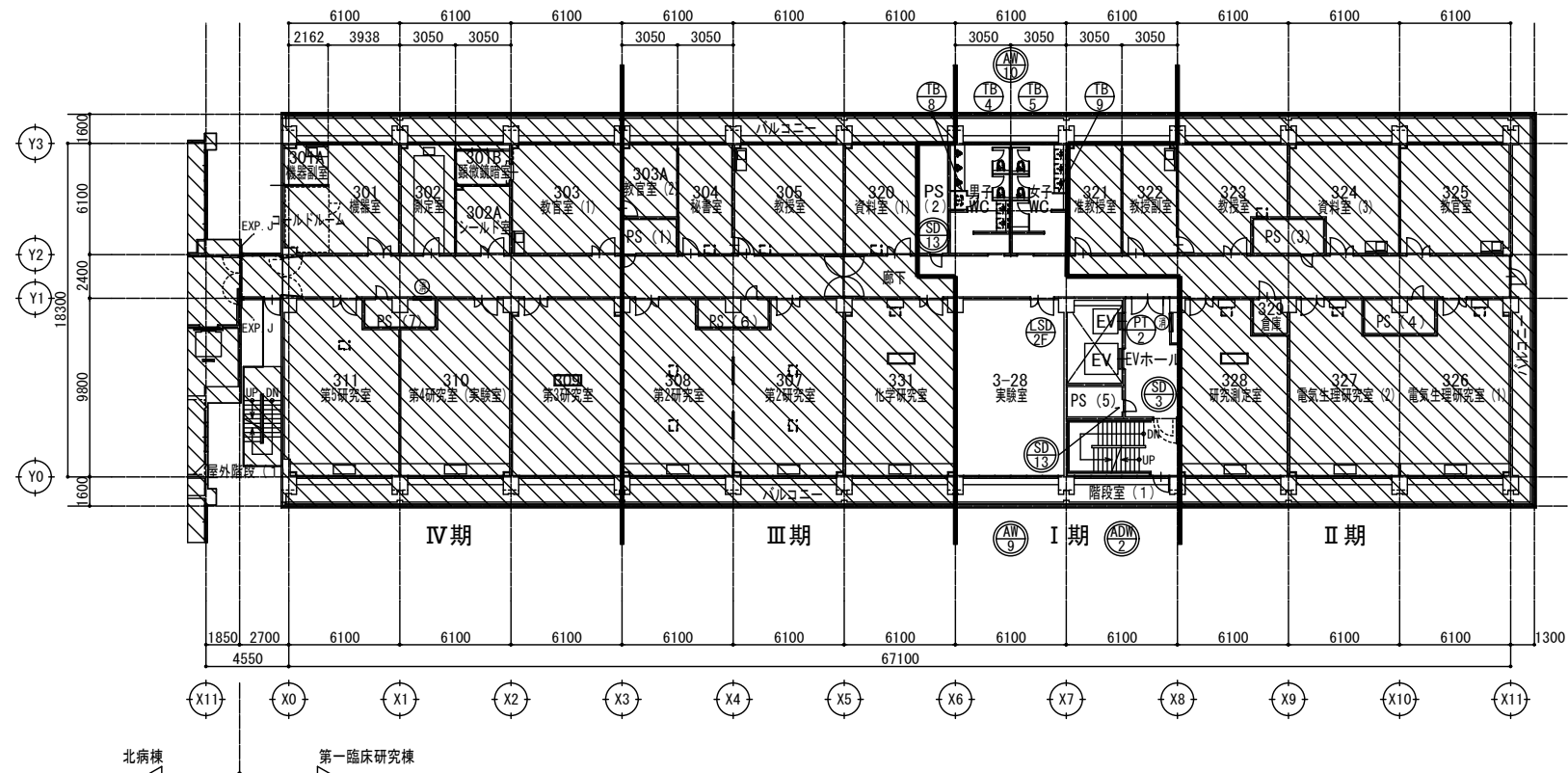
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）






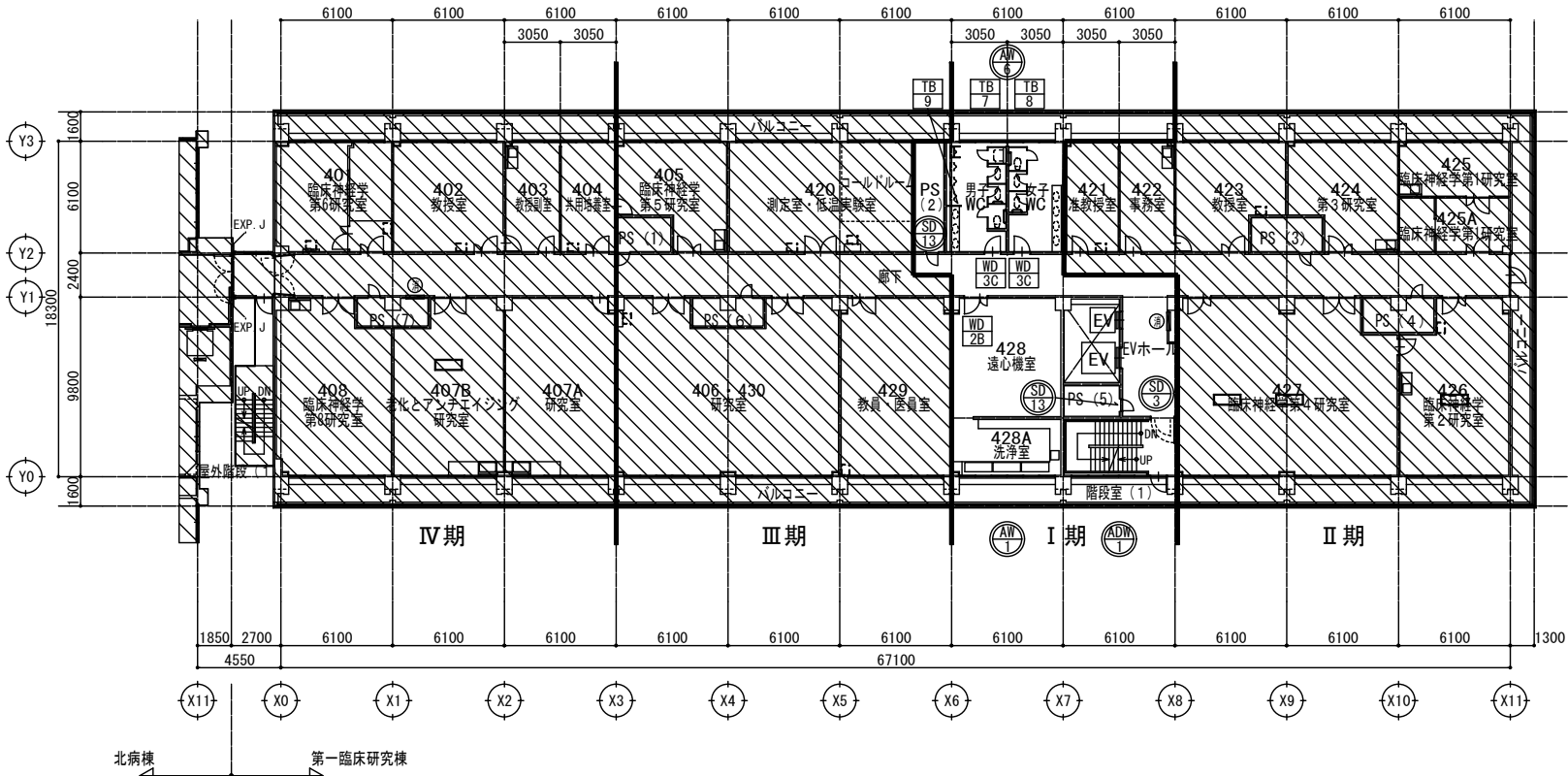
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号 14
図面名称 第一臨床研究棟 改修後 2階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	設計日 令和6年6月	



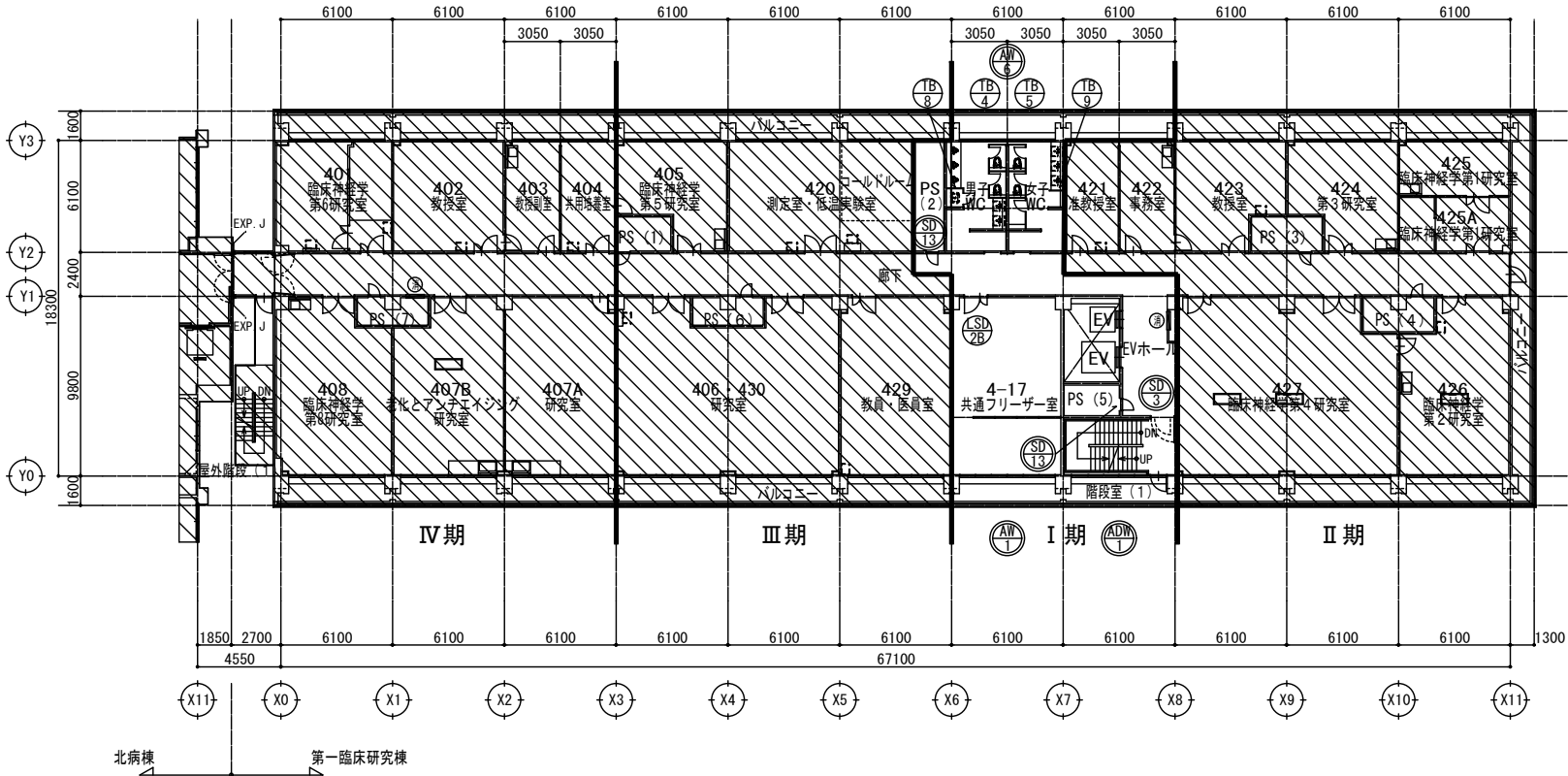
改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）（別添建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別添建築工事）
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別添建築工事）



改修後 凡例		
	本工事範囲外を示す	
	新設建具符号を示す（建具表を参照）	（別添建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）	（別添建築工事）

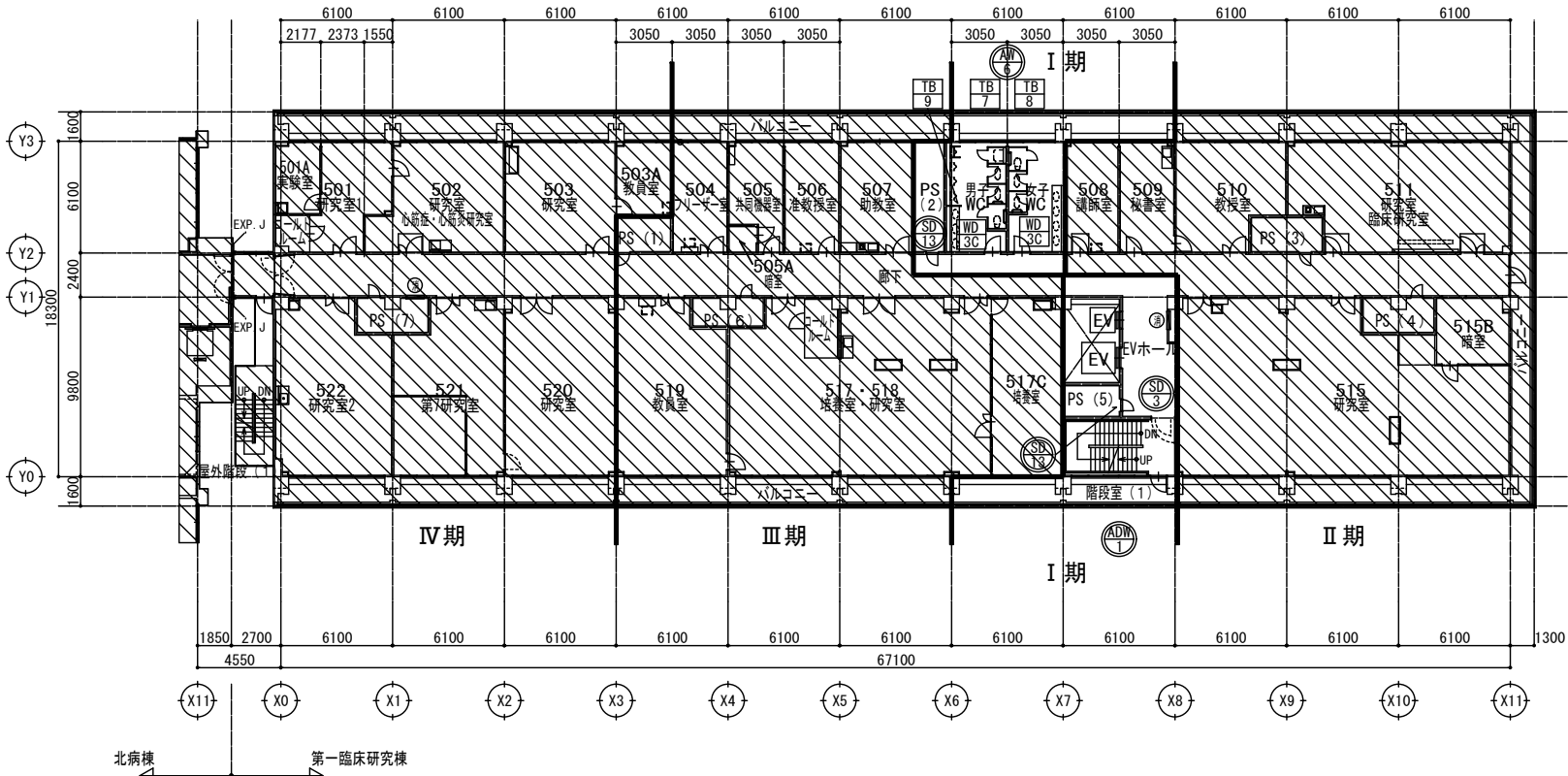


改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）

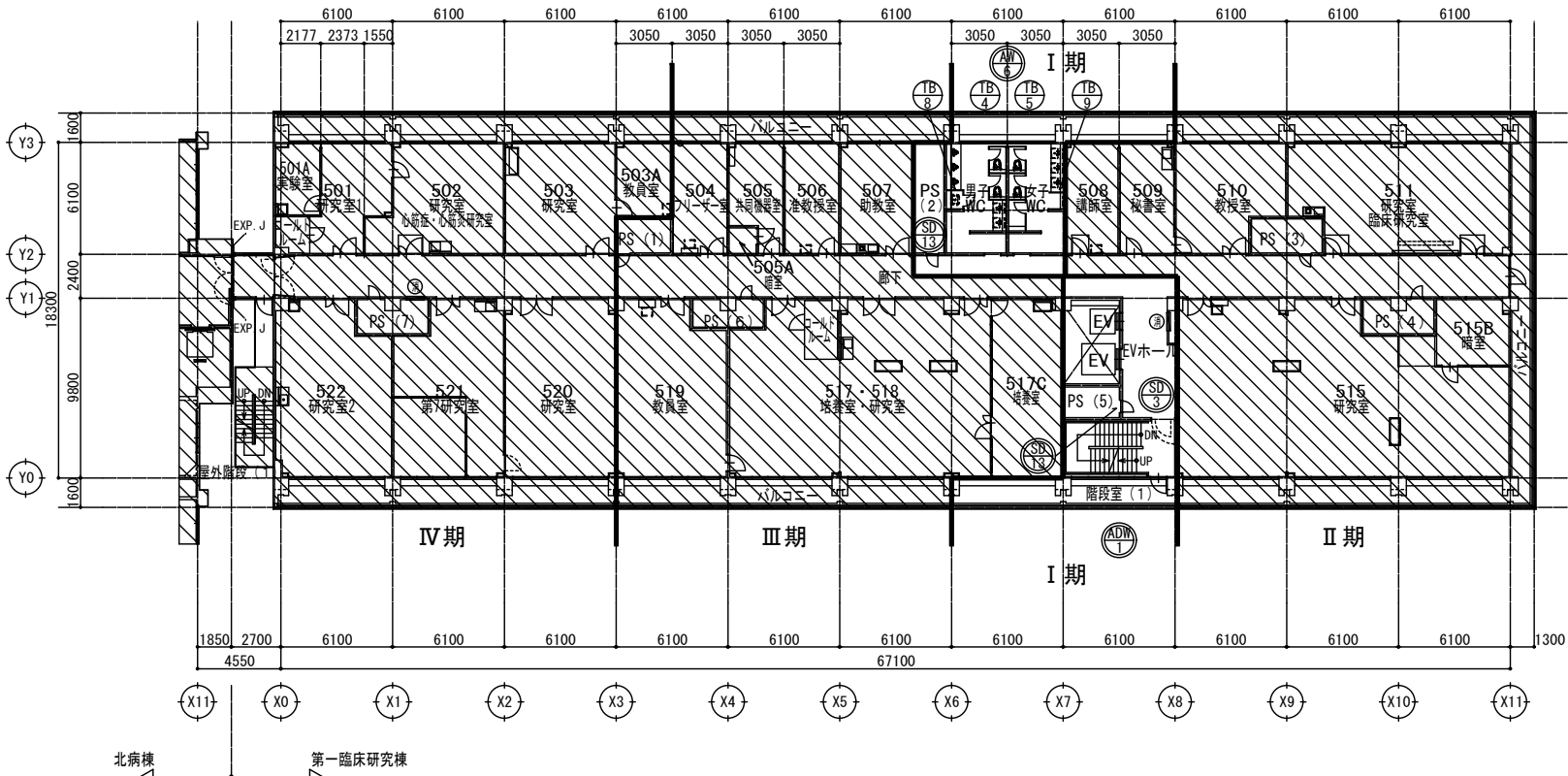


改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号 1 6
図面名称 第一臨床研究棟 改修前 4階平面図 改修後 4階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	設計日 令和6年6月	

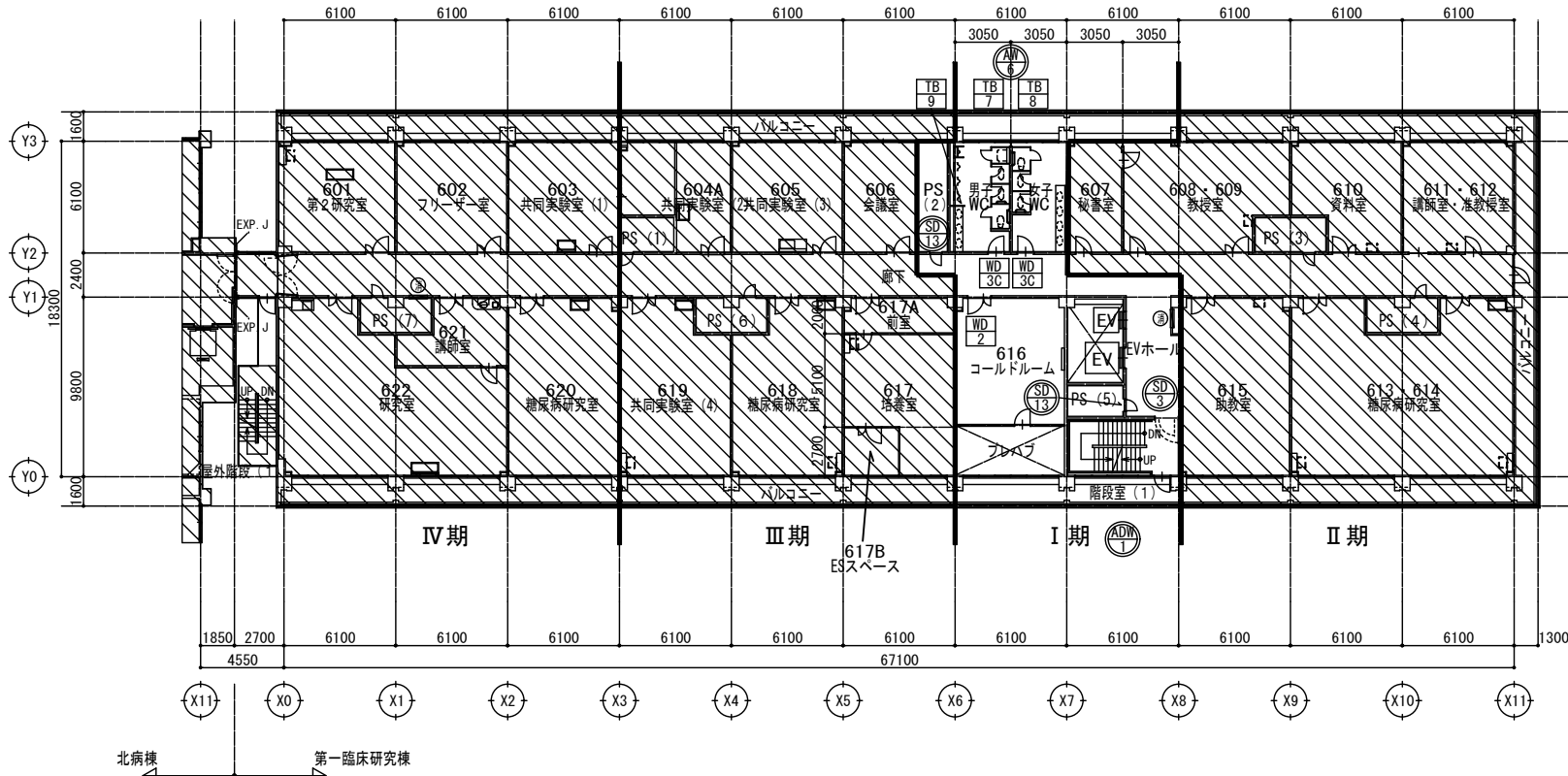


改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）

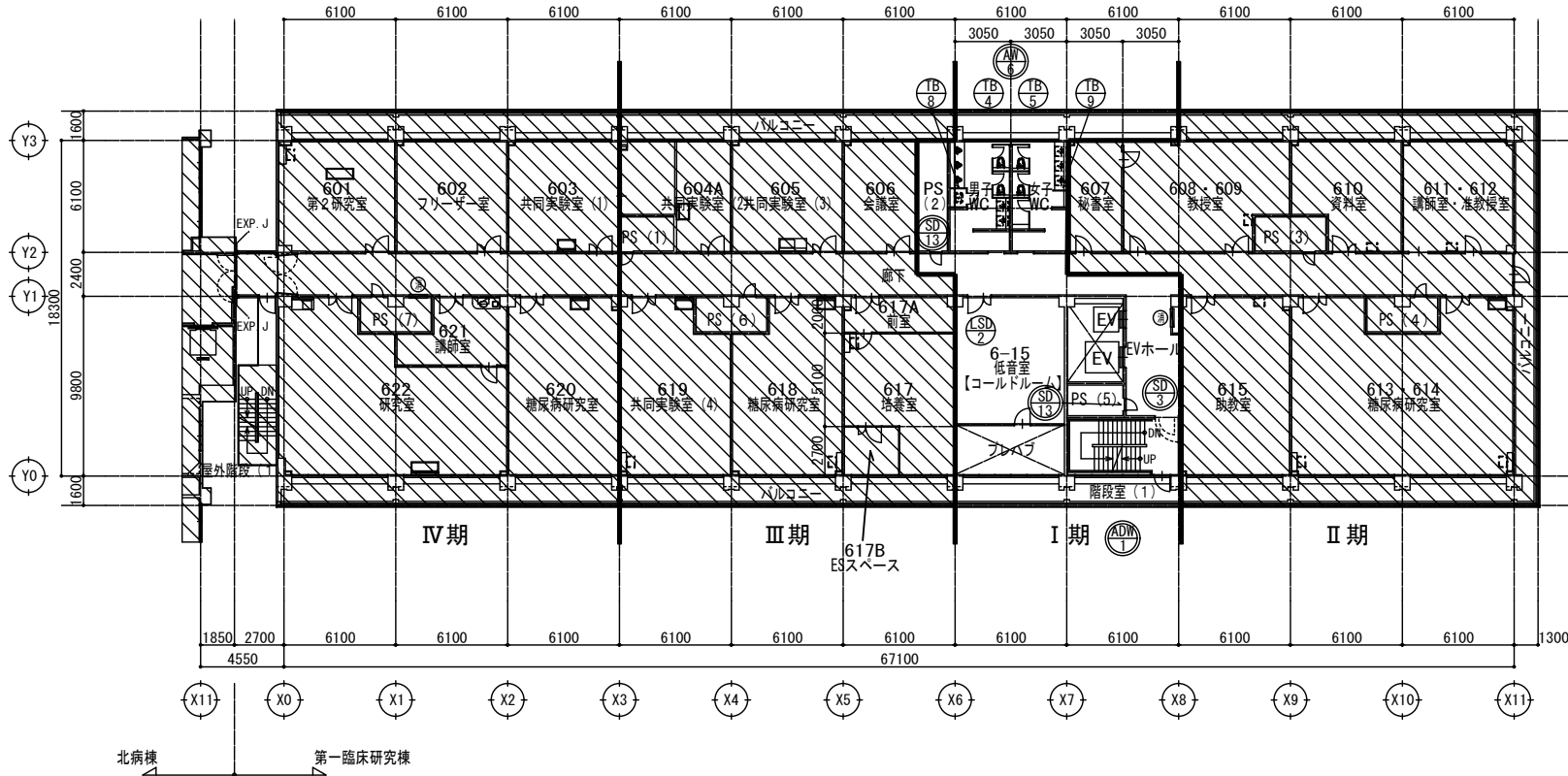


改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号
図面名称	縮尺	設計日	17
第一臨床研究棟 改修前 5階平面図 改修後 5階平面図	A1:1/200 A3:1/400	令和6年6月	

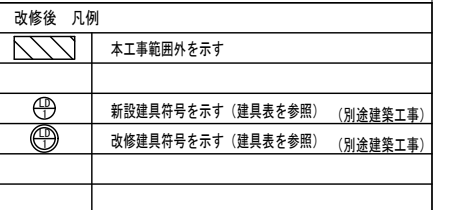
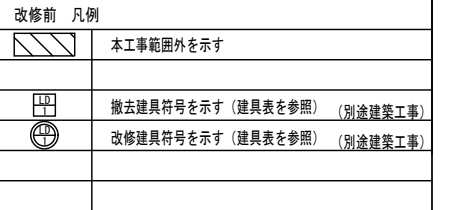


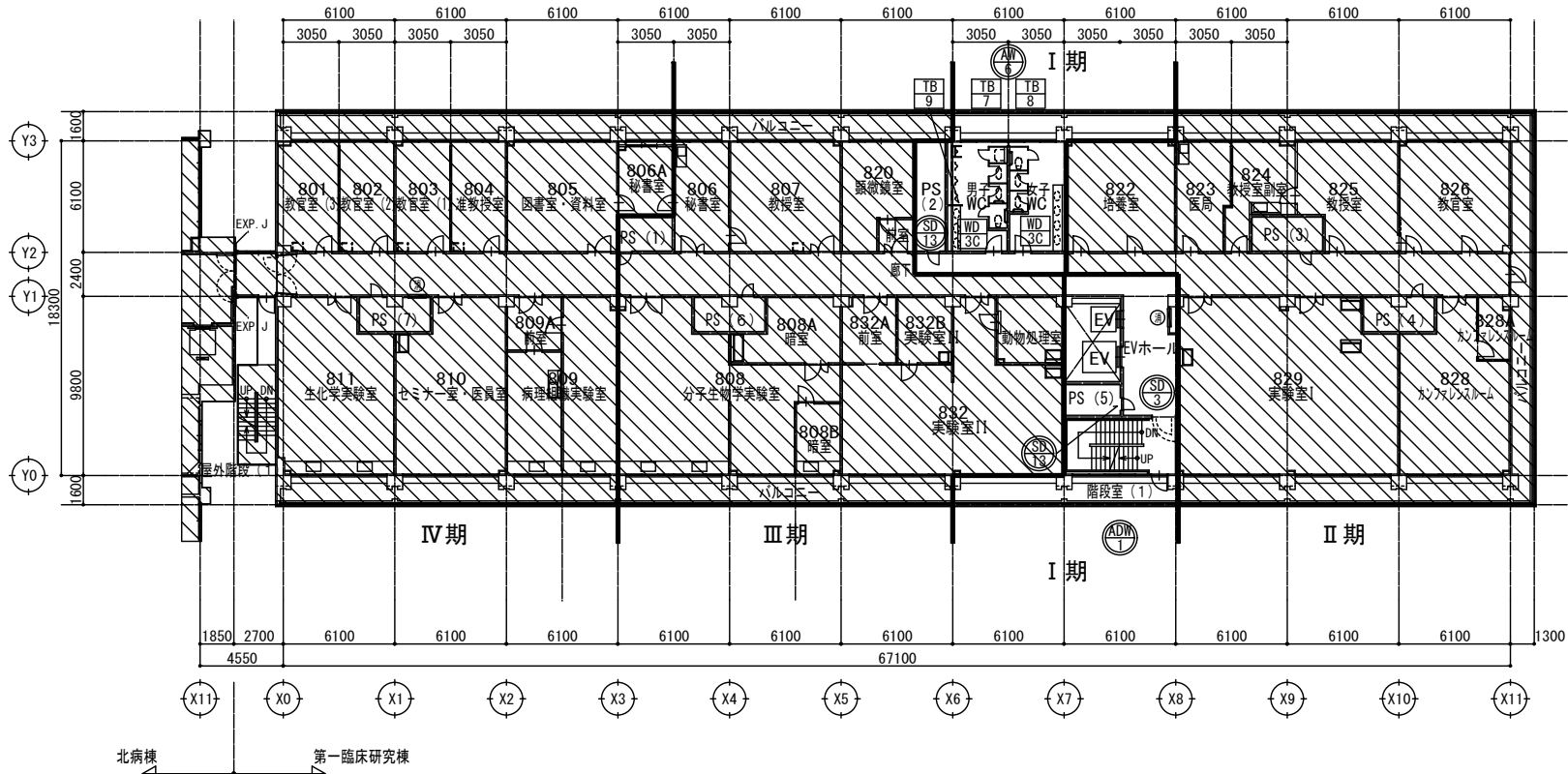
改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）



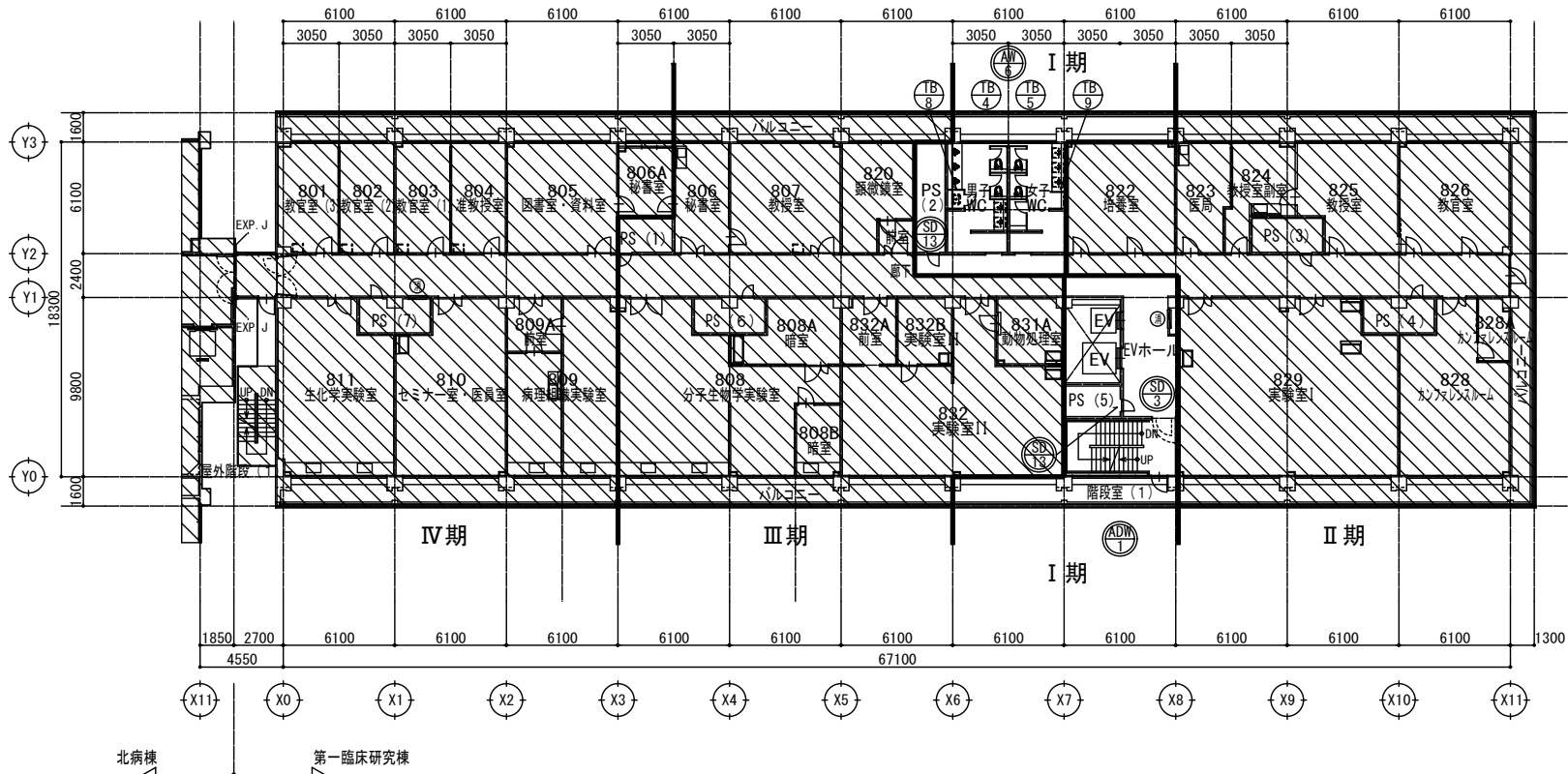
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号 18
図面名称 第一臨床研究棟 改修前 6階平面図 改修後 6階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	設計日 令和6年6月	



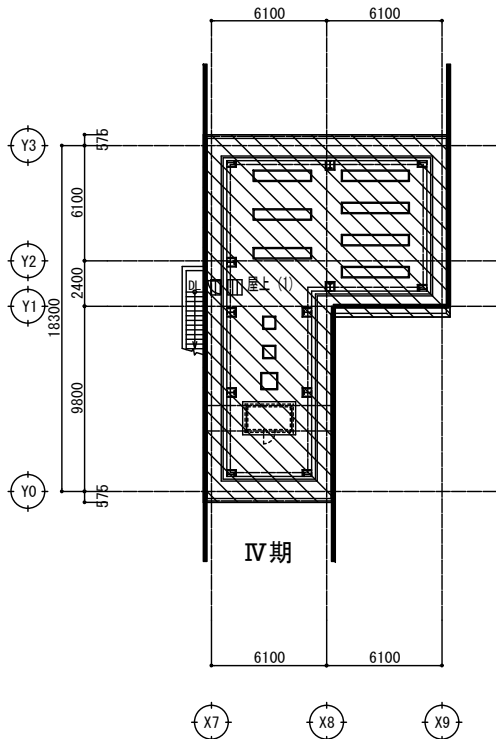
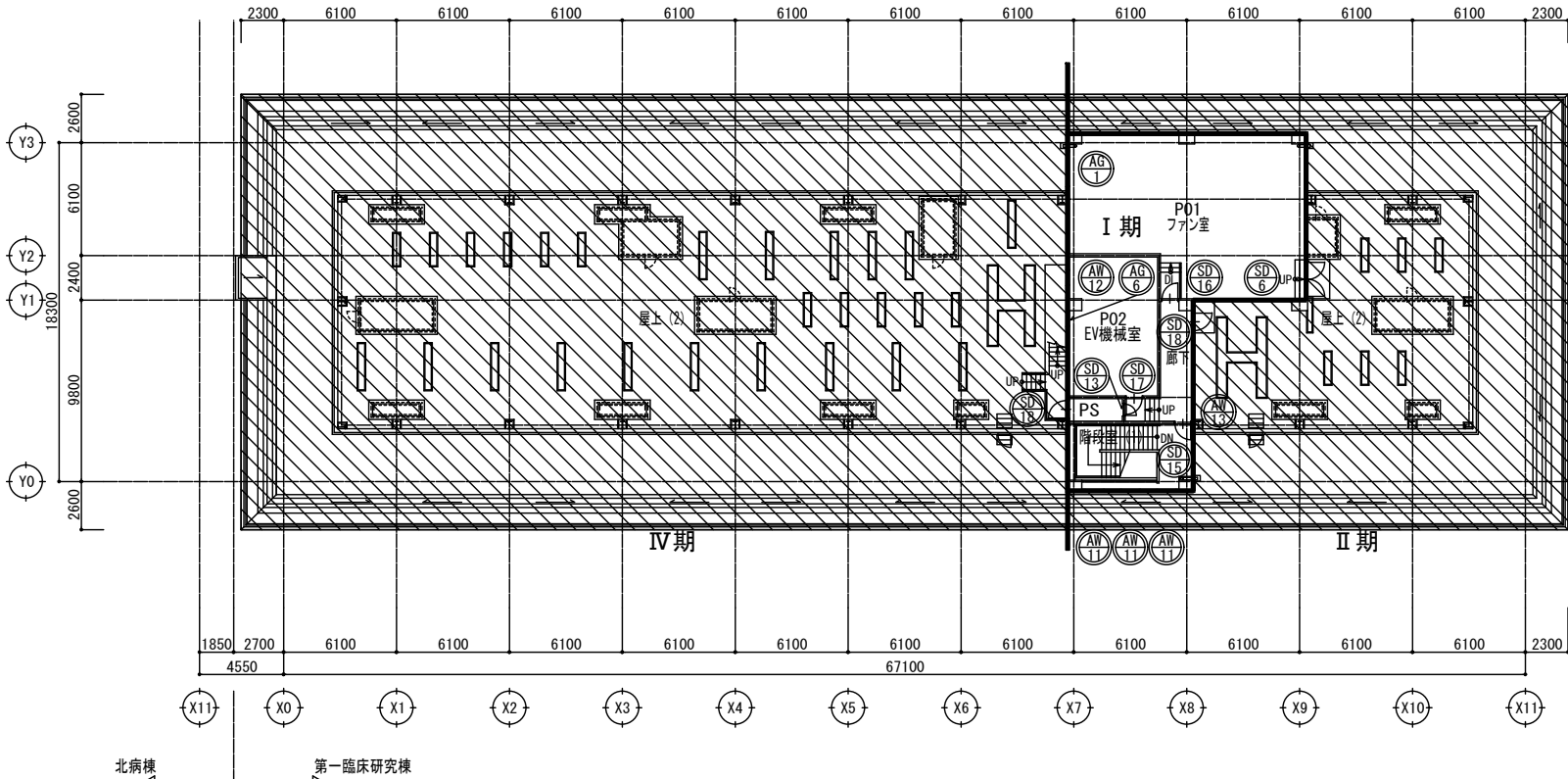


改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す (建具表を参照) (別途建築工事)
	改修建具符号を示す (建具表を参照) (別途建築工事)

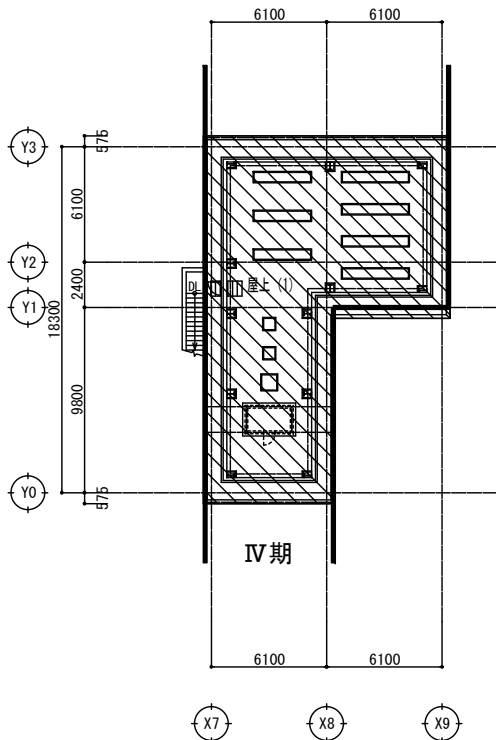
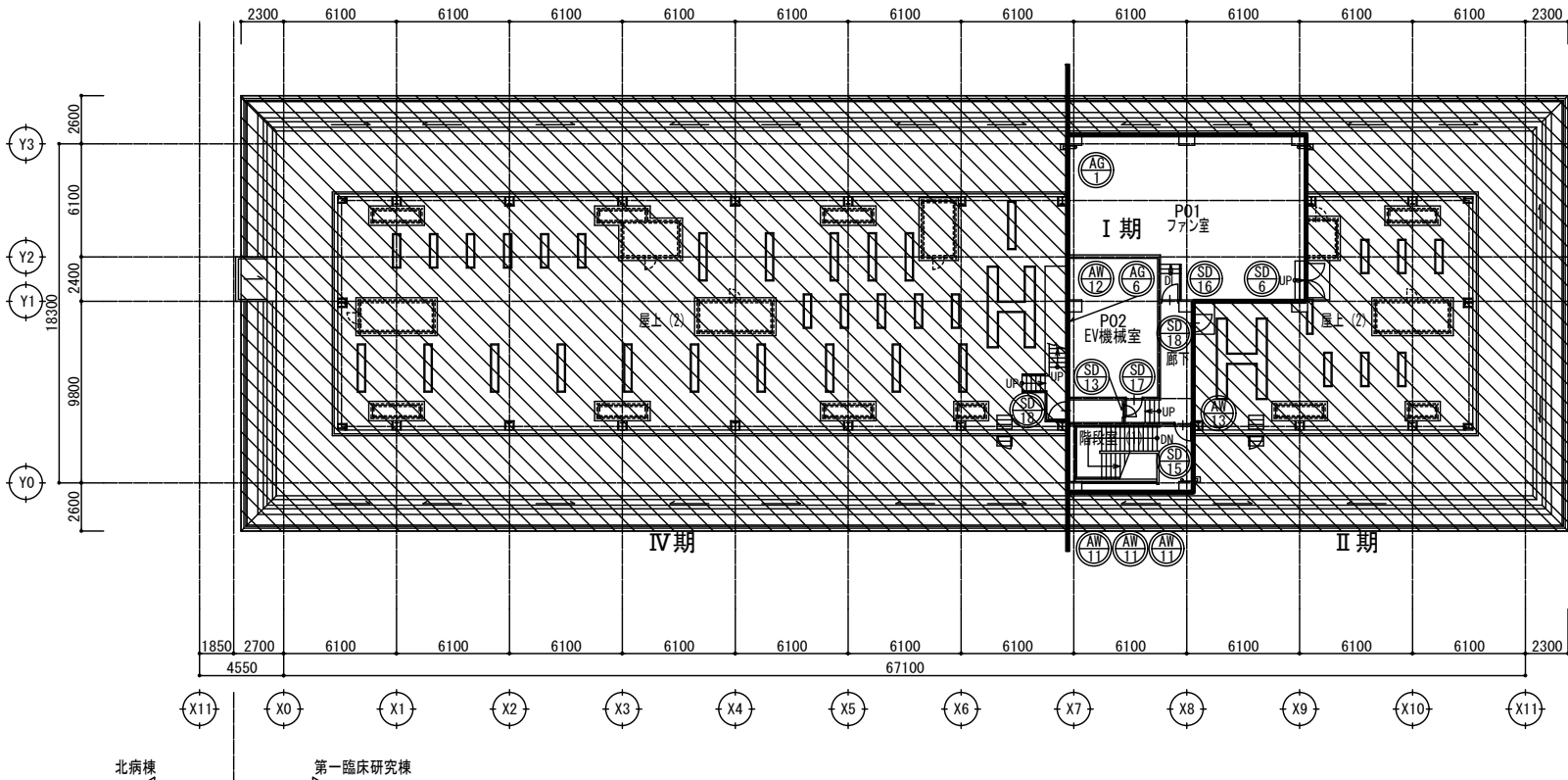


改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す (建具表を参照) (別途建築工事)
	改修建具符号を示す (建具表を参照) (別途建築工事)

工事名 京都大学 (南部) 総合研究棟 (第一臨床研究棟・I 期) 改修機械設備工事			20
図面名称	縮尺	設計日	
	A1:1/200 A3:1/400	令和 6 年 6 月	
第一臨床研究棟 改修前 8 階平面図 改修後 8 階平面図			

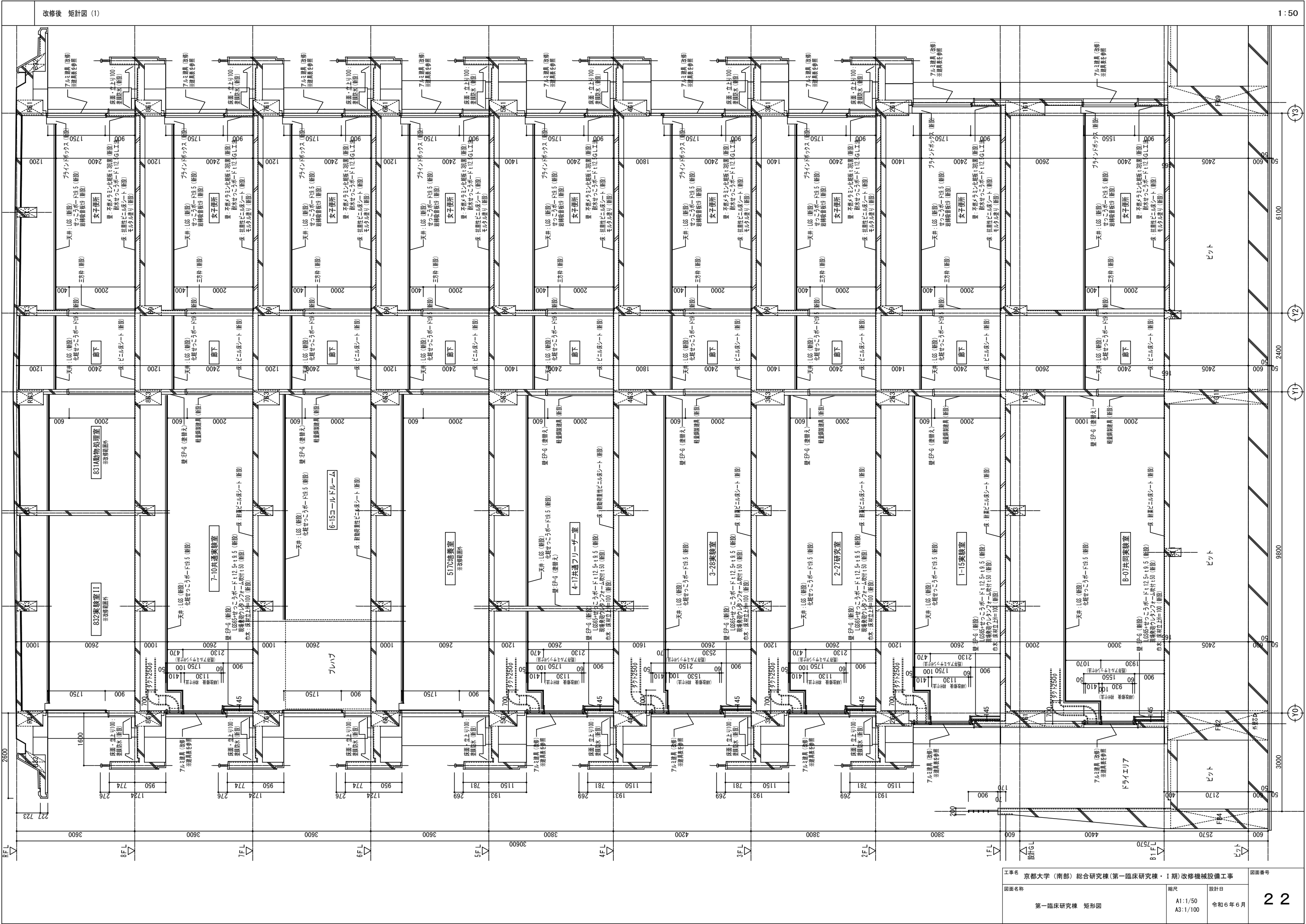


改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	撤去建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）

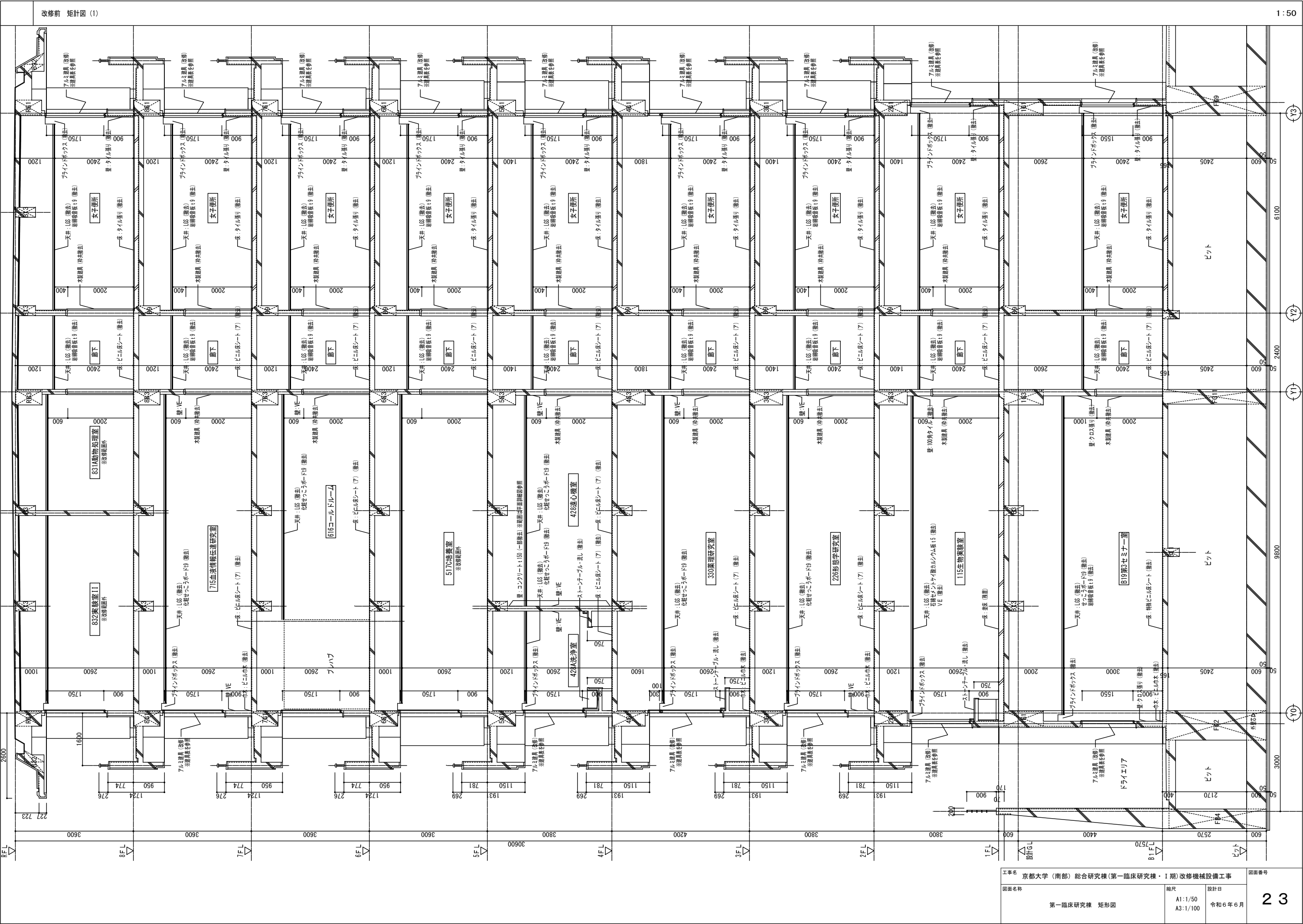


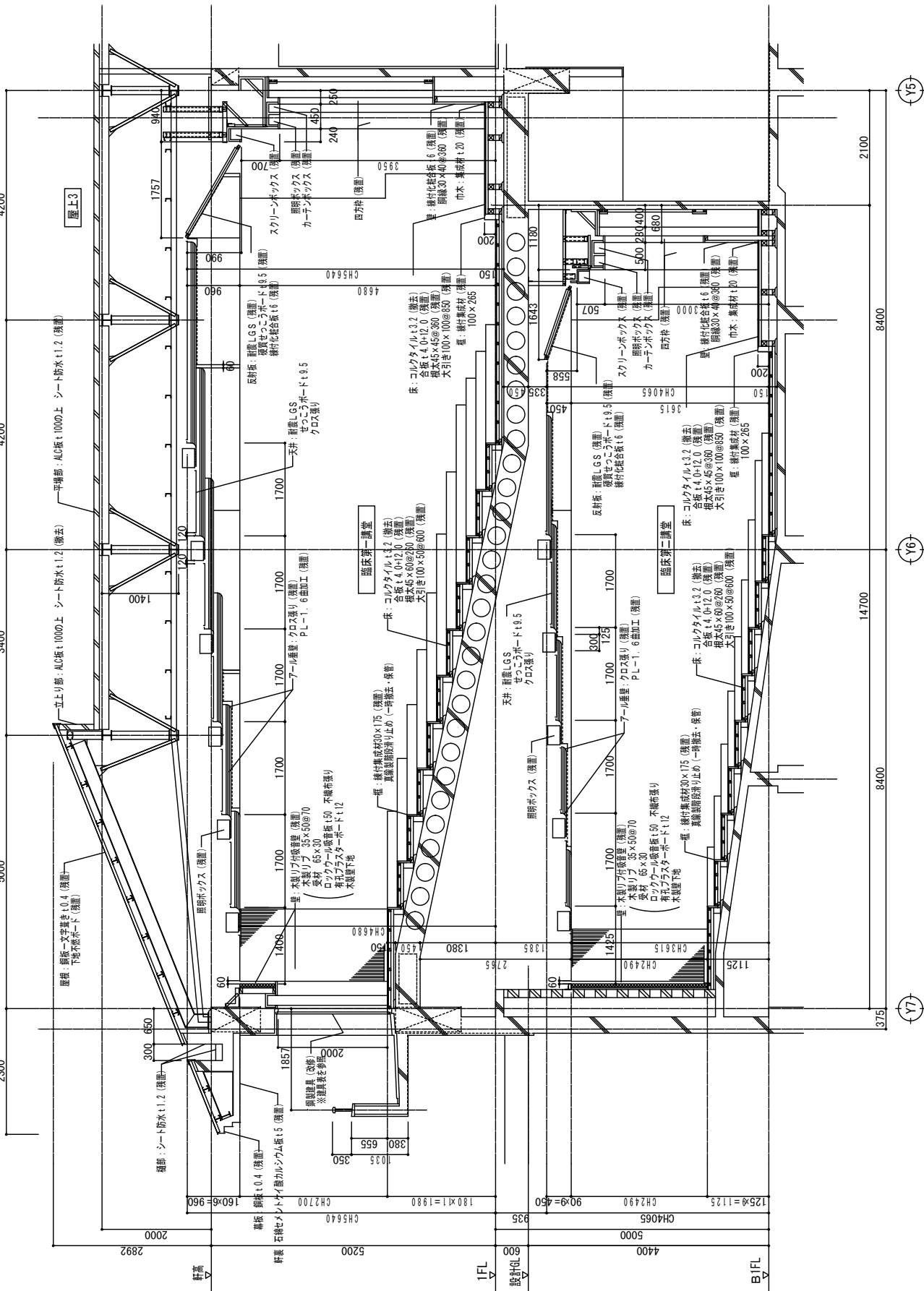
改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	新設建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）
	改修建具符号を示す（建具表を参照）（別途建築工事）

工事名			図面番号	
京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			21	
図面名称		縮尺		
第一臨床研究棟 改修前 R階平面図 改修後 R階平面図		A1:1/200 A3:1/400	設計日	
			令和6年6月	

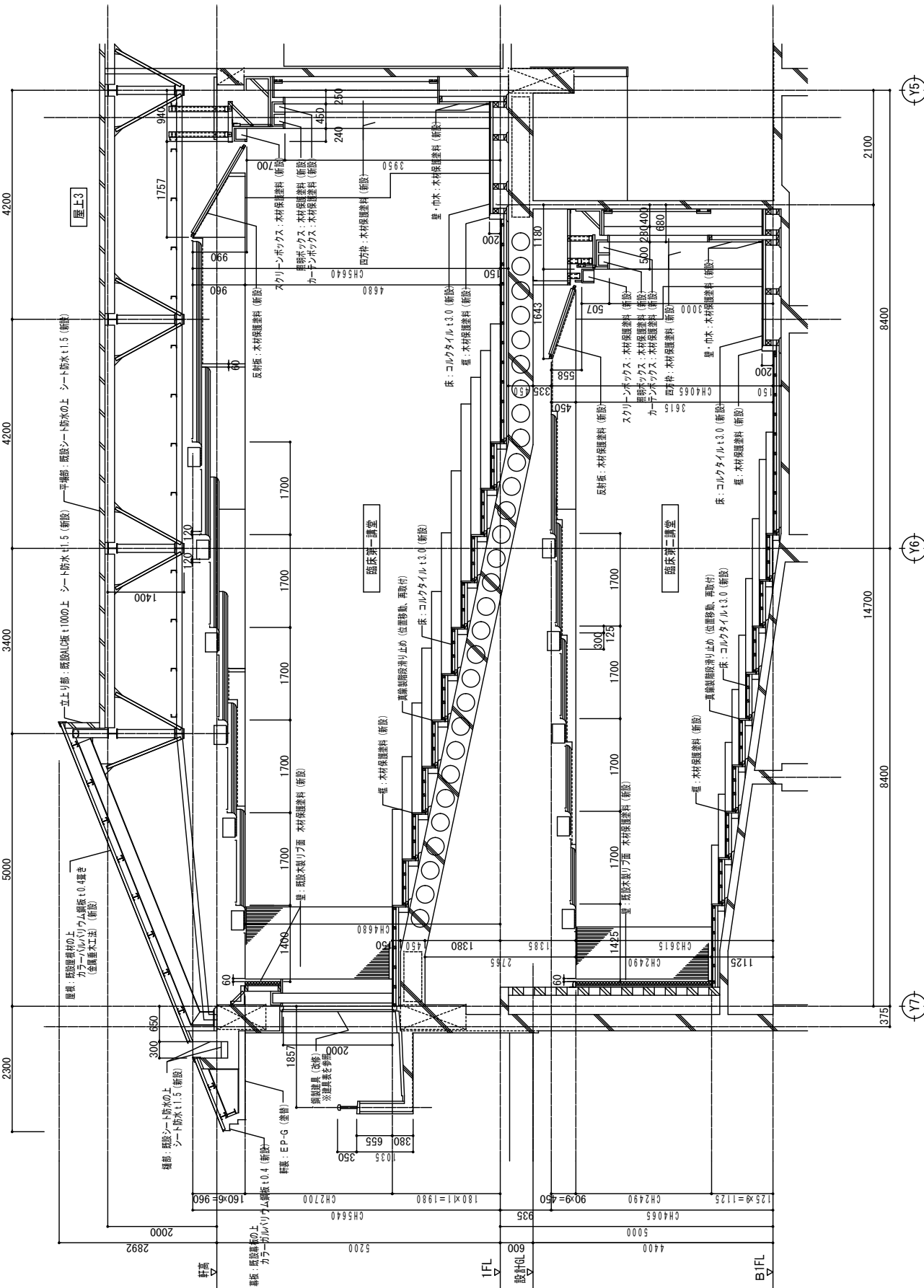


改修後 矩計図 (1)





矩計詳細図 1/50



矩計詳細図 1/50



Y2

2000

5000

9000

Y1

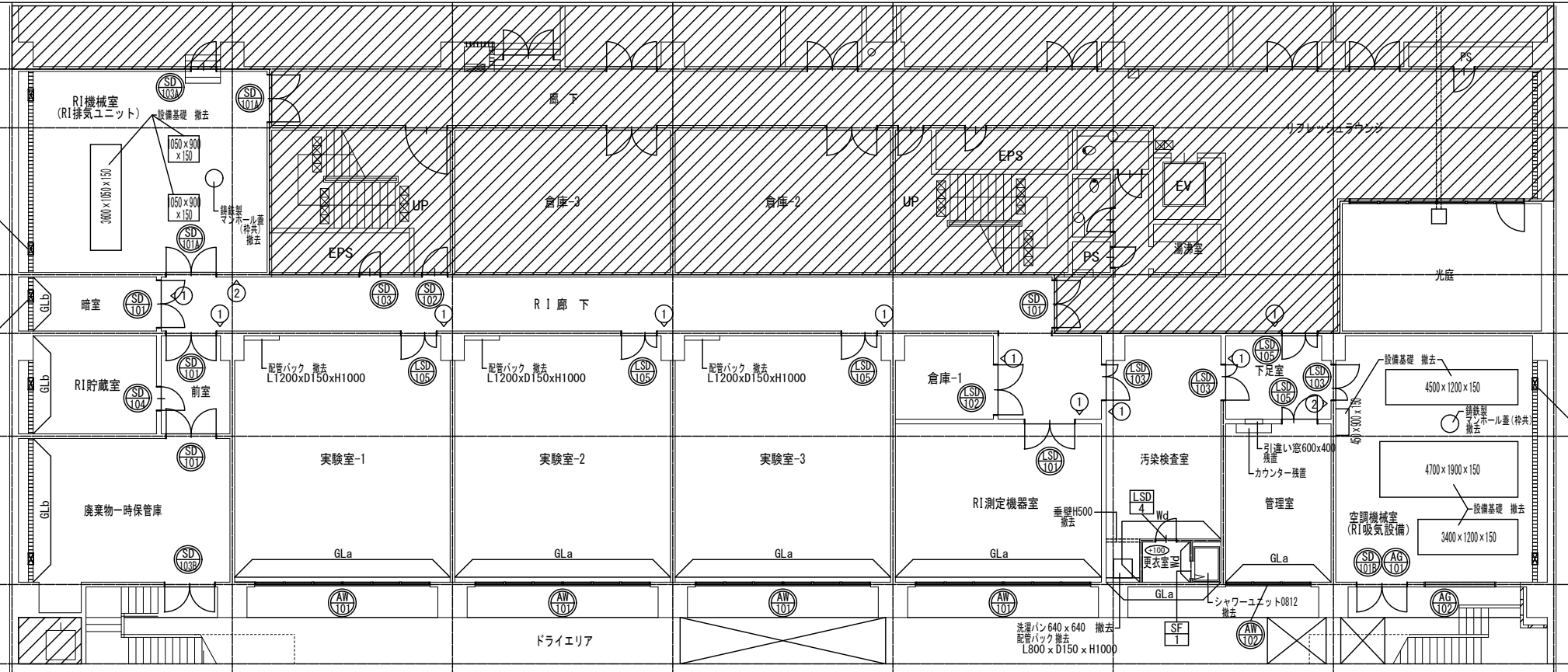
2000

3500

8550

Y0

2700



改修前 凡例	
	本工事範囲外を示す
	各部床高さを示す (特記なき限りFL±0)
	既設CBt150を示す (残置)
GLa	断熱材t30打込+せっこうボードt12.5GL工法 (残置)
GLb	CB面せっこうボードt12.5GL工法 (残置)
Wd	LGS100+せっこうボードt12.5+t9.5両面 (撤去) (別途建築工事)
LSD 4	撤去建具符号を示す (建具表を参照) (別途建築工事)
SD 1	改修建具符号を示す (建具表を参照) (別途建築工事)
①	既設平付けサイン (室名札) W200xH200 一時撤去、保管を示す (別途建築工事)
②	既設平付けサイン (室名札) W200xH50 一時撤去、保管を示す (別途建築工事)



Y2

2000

5000

9000

Y1

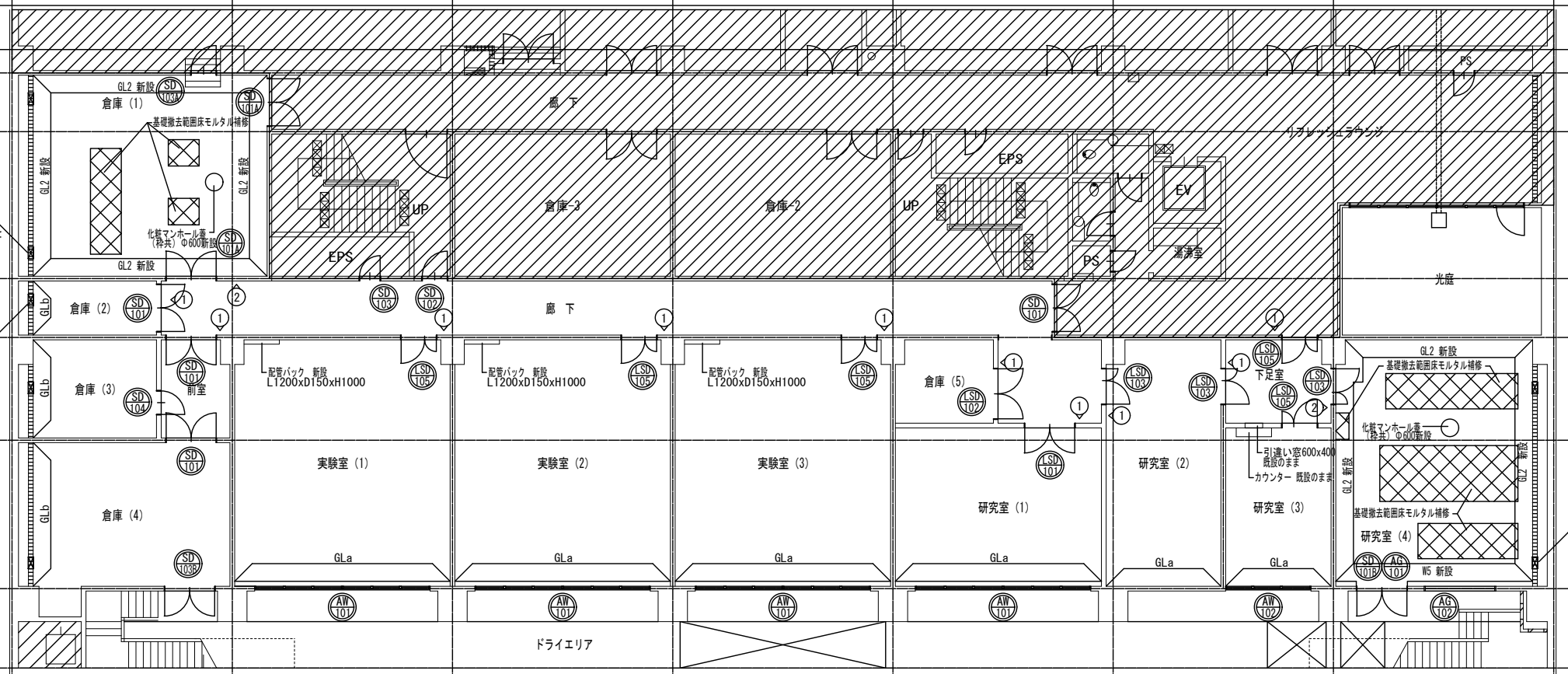
2000

3500

8550

Y0

2700

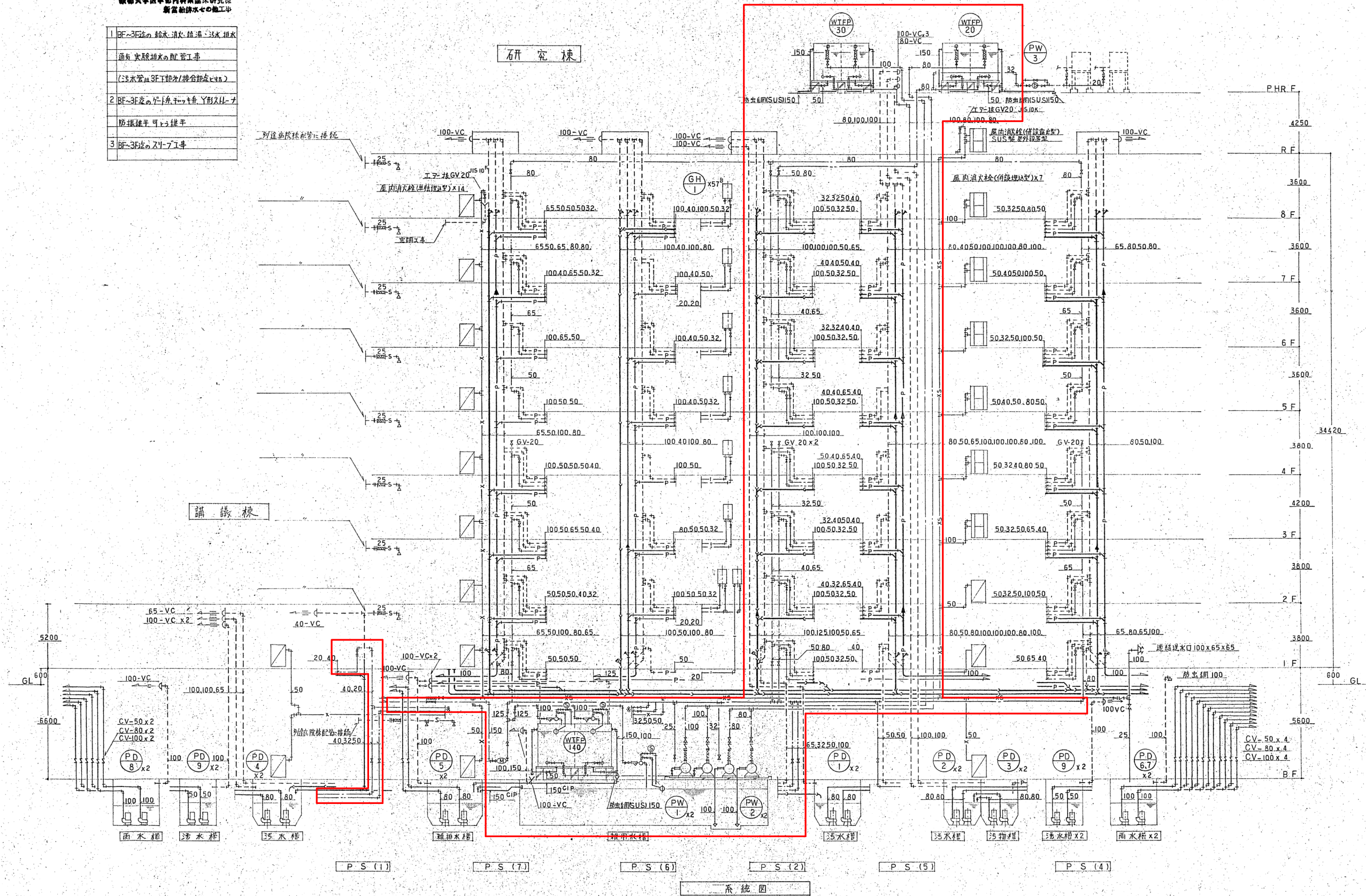


改修後 凡例	
	本工事範囲外を示す
	既設CBt150を示す (既設のまま)
GLa	断熱材t30打込+せっこうボードt12.5GL工法 (既設のまま)
GLb	CB面せっこうボードt12.5GL工法 (既設のまま)
GL2	既設CB面及び既設RC面せっこうボードt12.5GL工法 (新設) (別途建築工事)
W5	LGS65+せっこうボードt12.5+t9.5片面 (新設) (別途建築工事)
SD 1	改修建具符号を示す (建具表を参照) (別途建築工事)
①	既設平付けサイン (室名札) W200xH200 再取付を示す (別途建築工事)
②	既設平付けサイン (室名札) W200xH50 再取付を示す (別途建築工事)

床高さは全てFL±0

京都大学医学部内科系臨床研究棟
新築給排水工事

- 1 BF~3F迄の給水・排水・給湯・汚水排水
通気・実験排水の配管工事
(汚水管は3F以下に接続部を省略)
- 2 BF~3F迄の給排水・給湯・汚水排水
防振緩衝可変継手
- 3 BF~3F迄の給排水・給湯・汚水排水



改修範囲

京都大学医学部内科系臨床研究棟
新築給排水工事

- 1 BF~3F迄の給水・排水・雑排水
- 2 BF~3F迄のトイレ・キッチン・浴室・洗面
- 3 BF~3F迄のトイレ・キッチン

研究棟

講義棟

改修範囲

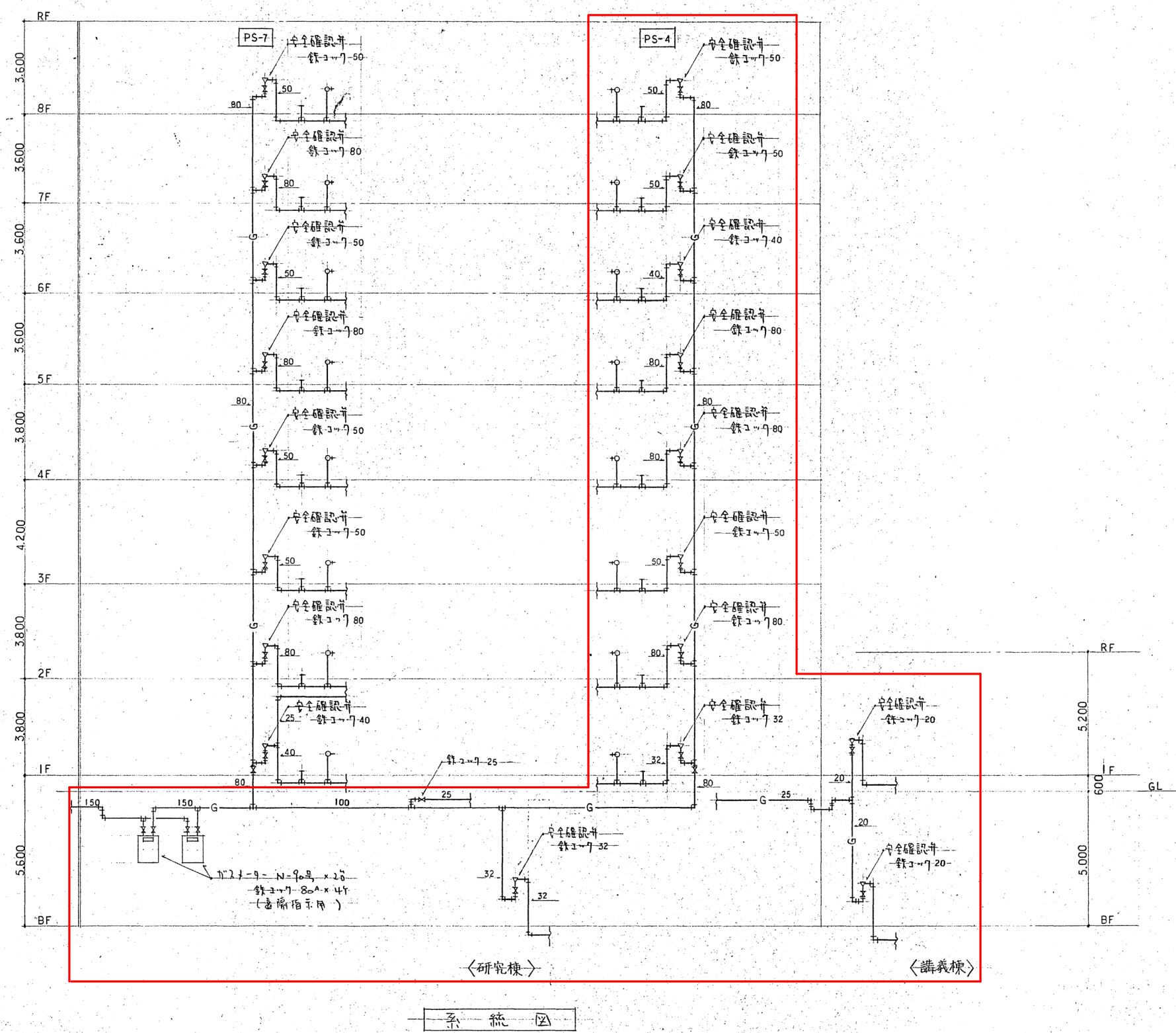
京都大学医学部内科系臨床研究棟
新築給排水工事

- 1 BF~3F迄の給水・排水・汚水排水
通気・実験棟の配管工事
(汚水管は3F以下に接合部を設ける)
- 2 BF~3F迄の給排水・汚水排水
防振緩衝可変継手
- 3 BF~3F迄のスリーブ工事

研究棟

講義棟

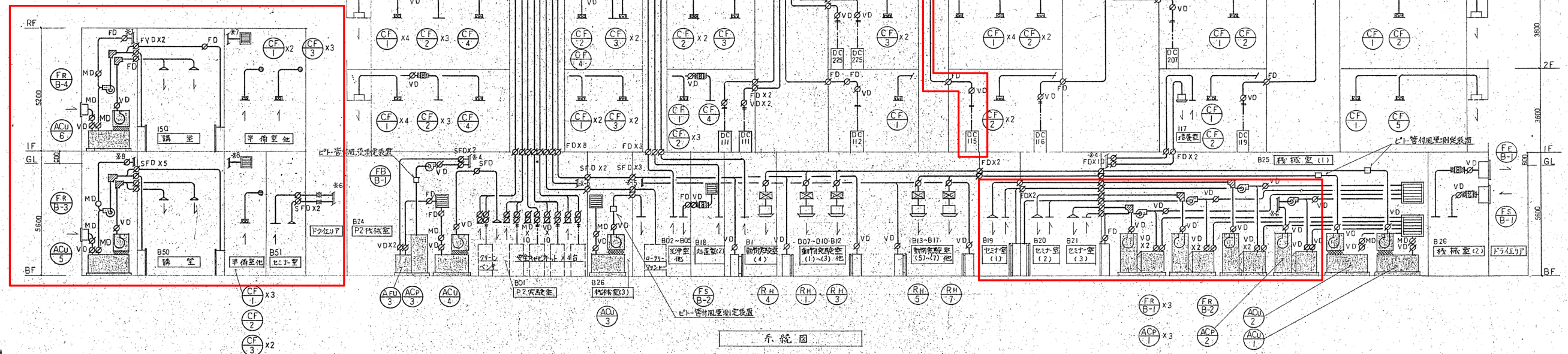
改修範囲



改修範囲

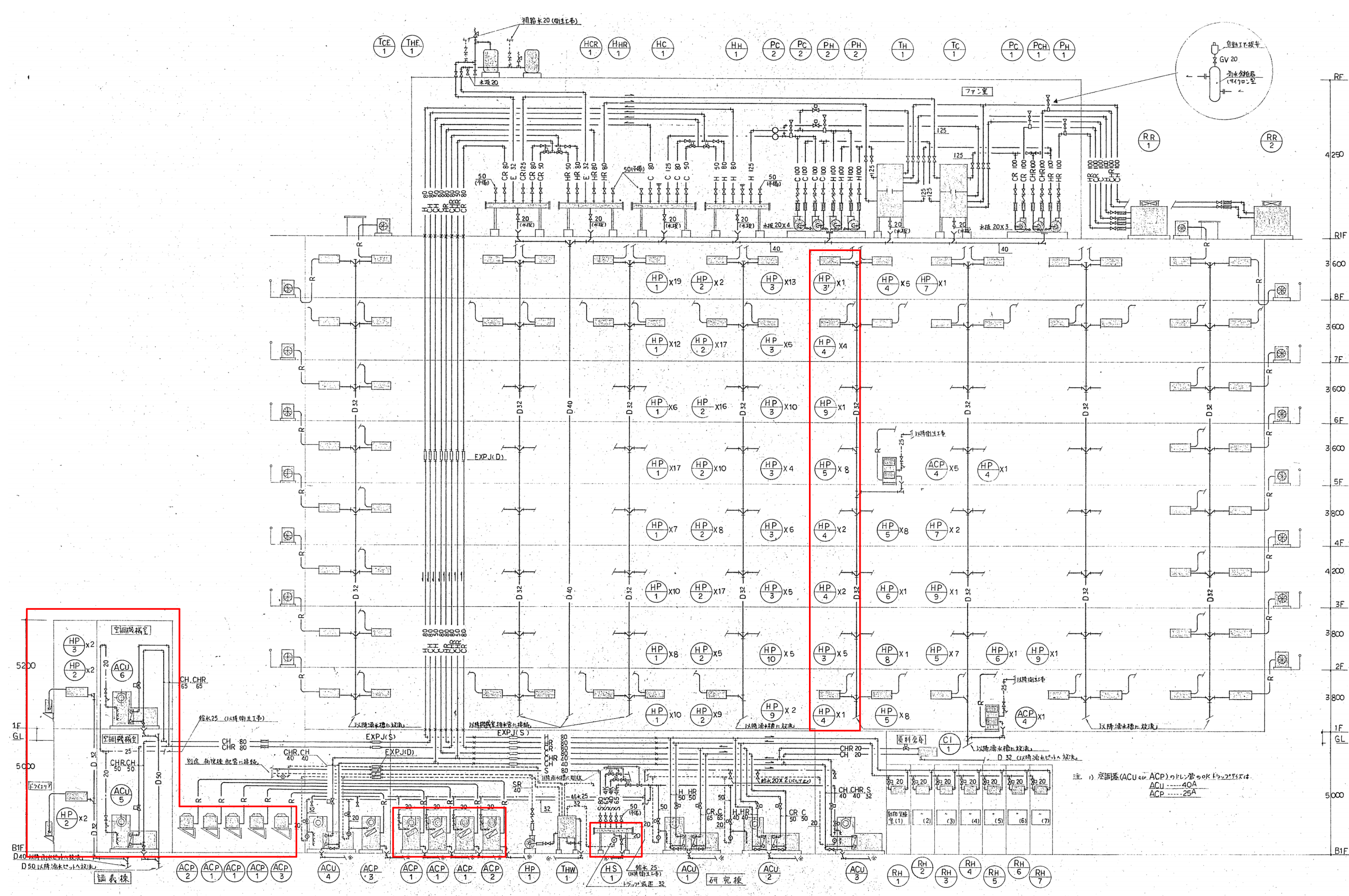
工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号 <
--	--	--	---

- 凡例
- 1 DC 直流電源記号を付した数字は設置の箇所を示す
 - 2 以降の線は屋上露出ダクト (VU) を示す
 - 3 以降の線は将来工事範囲のダクトを示す
 - 4 以降の線は別図



改修範囲

工事名 京都大学（南部）総合研究棟（第一臨床研究棟・I期）改修機械設備工事			図面番号
図面名称	縮尺	設計日	30
第一臨床研究棟 空気調和設備 ダクト改修範囲（参考図）	A1:1/100 A3:1/200	令和6年6月	



改修範囲